

基本施策1 住民への普及啓発

達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施	6個	4個	5個	6個	6個
100%	0個	1個	1個	1個	1個
一部実施	0個	0個	0個	0個	0個
76%～99%	0個	0個	0個	0個	0個
51%～75%	0個	0個	0個	0個	0個
26%～50%	0個	0個	0個	0個	0個
1%～25%	0個	0個	0個	0個	0個
0% / 未実施 / 縮小	1個	2個	1個	0個	0個
実施・100% 率	85.7%	71.4%	85.7%	100.0%	100.0%

基本施策3 地域におけるネットワークの強化

達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施	1個	2個	1個	2個	1個
100%	2個	2個	2個	2個	2個
一部実施	0個	0個	0個	0個	0個
76%～99%	0個	0個	0個	0個	0個
51%～75%	0個	0個	0個	0個	0個
26%～50%	0個	0個	0個	0個	0個
1%～25%	0個	0個	0個	0個	0個
0% / 未実施 / 縮小	1個	0個	1個	0個	1個
実施・100% 率	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	75.0%

重点施策1 若者対策

達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施	3個	0個	0個	1個	1個
100%	11個	11個	11個	11個	13個
一部実施	0個	0個	0個	0個	0個
76%～99%	0個	0個	0個	0個	0個
51%～75%	0個	0個	1個	1個	0個
26%～50%	0個	0個	1個	1個	0個
1%～25%	0個	0個	0個	0個	0個
0% / 未実施 / 縮小	0個	3個	1個	0個	0個
実施・100% 率	100.0%	78.6%	78.6%	85.7%	100.0%

重点施策3 高齢者対策

達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施	6個	6個	6個	6個	7個
100%	6個	5個	5個	6個	5個
一部実施	0個	0個	0個	0個	0個
76%～99%	1個	1個	3個	4個	3個
51%～75%	2個	0個	0個	0個	0個
26%～50%	0個	3個	2個	0個	0個
1%～25%	0個	0個	0個	0個	0個
0% / 未実施 / 縮小	0個	1個	0個	0個	1個
実施・100% 率	80.0%	68.8%	68.8%	75.0%	75.0%

基本施策2 自殺対策を支える人材育成

達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施	3個	0個	3個	2個	3個
100%	3個	2個	2個	3個	3個
一部実施	0個	0個	0個	0個	0個
76%～99%	0個	0個	0個	0個	0個
51%～75%	0個	0個	0個	0個	0個
26%～50%	0個	0個	0個	0個	0個
1%～25%	0個	0個	0個	0個	0個
0% / 未実施 / 縮小	0個	4個	1個	1個	0個
実施・100% 率	100.0%	33.3%	83.3%	83.3%	100.0%

基本施策4 生きることを促進させる要因への支援

達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施（継続）	24個	21個	22個	22個	23個
100%	5個	3個	3個	3個	6個
一部実施	0個	2個	1個	1個	0個
76%～99%	1個	1個	2個	4個	2個
51%～75%	0個	0個	1個	0個	0個
26%～50%	0個	2個	1個	1個	0個
1%～25%	0個	0個	1個	0個	0個
0% / 未実施 / 縮小	0個	2個	0個	0個	0個
実施・100% 率	96.7%	77.4%	80.6%	80.6%	93.5%

重点施策2 生活困窮対策

達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施	4個	4個	4個	4個	4個
100%	0個	0個	0個	0個	0個
一部実施	0個	0個	0個	0個	0個
76%～99%	0個	0個	0個	0個	0個
51%～75%	0個	0個	0個	0個	0個
26%～50%	0個	0個	0個	0個	0個
1%～25%	0個	0個	0個	0個	0個
0% / 未実施 / 縮小	0個	0個	0個	0個	0個
実施・100% 率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

重点施策4 働き盛り世代対策

達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施	4個	4個	4個	4個	4個
100%	2個	2個	2個	2個	2個
一部実施	0個	0個	0個	0個	0個
76%～99%	0個	0個	0個	0個	0個
51%～75%	0個	0個	0個	0個	0個
26%～50%	0個	0個	0個	0個	0個
1%～25%	0個	0個	0個	0個	0個
0% / 未実施 / 縮小	0個	0個	0個	0個	0個
実施・100% 率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

令和元年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和元年度実施状況	令和元年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和２年度以降）の実施計画
基本施策１ 住民への普及啓発							
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	チラシによる相談窓口の周知	子育て・健康課		庁内窓口等にチラシを配架し、相談窓口の周知を図った。	悩んでいる周囲の方に相談窓口が届くように、相談窓口の周知を図ることができた。	実施	実施を継続
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	リーフレットによる心の健康づくりに関する周知	子育て・健康課		庁内窓口、保健センター等で心の健康に関するリーフレットの配布を実施。	心の健康を保つことは重要であり、窓口や未病センター等で普及啓発を行うことができた。	実施	実施を継続
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	図書館の管理	生涯学習課		0回	関連資料の展示準備は行っていたが、休館に伴い実施出来なかった。	0%	3月の「自殺対策強化月間」等の機会を捉えて、資料展示等の取組みを行う。
1-2. 町民向け講演会・イベントなどの開催	こころの健康講座	子育て・健康課		12月実施し32人参加。精神科医より「新型うつ病の基礎知識」についての講演。	アンケート結果より100%の方が参考になったと答えており、満足度の高い講座が実施できた。	実施	実施を継続
1-2. 町民向け講演会・イベントなどの開催	ふるさとまつり等イベントにおける普及啓発	子育て・健康課 イベント実施関係各課		ふるさとまつり等イベントで、資料の配布等実施。	土日開催のイベントで幅広い年齢層の方々に普及啓発が実施できた。	実施	実施を継続
1-3. メディアを活用した啓発活動	広報紙・ホームページを通じた広報活動	地域政策課 子育て・健康課		・自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に啓発記事を、予防週間については、関連講座記事を併せて広報紙へ掲載 ・通年でのホームページによる相談窓口等の周知を実施	広報紙面の確保とホームページの活用により、「心の健康」に関する普及啓発を図ることができた。	実施	事業を継続
1-3 メディアを活用した啓発活動	住民ガイドブックの発行	地域政策課 子育て・健康課		・転入者に対し、住民ガイドブック（くらしの便利帳）を配布し、相談窓口等の周知を実施	転入者に対し、他の相談窓口とともに「こころの健康相談」にかかる窓口の周知を図ることができた。	実施	事業を継続
基本施策２ 自殺対策を支える人材育成							
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	全職員を対象としたゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		未受講者と新採用職員を対象として22人参加。（10月一般住民と同時実施）	令和2年度に加え、これまで166名の職員にゲートキーパーの養成ができている。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	一般住民を対象とするゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		10月実施。12人参加。（職員と同時実施）	令和2年度に加え、これまで348名にゲートキーパーの養成ができている。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	各種団体を対象とするゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		健康づくり普及委員やヘルスメイト等地域で活躍する団体へ講座への参加勧奨を行った。	地域で活躍する方へゲートキーパー養成講座を普及している。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	職員メンタルヘルス研修	総務課		市町村研修センター実施の「メンタルヘルス研修」に対象職員を参加させた。	参加者が少なかったため、受講対象者に受講を促すことを検討する。	100%	実施を継続
2-2. 学校教育の場における人材育成	教職員研修	教育総務課		人権教育担当者会実施、各校内人権研修会	人権研修を通して、教職員の人権感覚の高揚を図った。	100%	継続して実施
2-2. 学校教育の場における人材育成	生活指導・健全育成	教育総務課		生徒指導・児童指導担当者会、校内児童生徒指導研修会	SOSの出し方に関する教育や、児童生徒指導の対応について研修を行った。	100%	継続して実施
基本施策３ 地域におけるネットワークの強化							
3-1. 地域におけるネットワークの強化	二宮町自殺対策検討会議	全課		自殺対策検討会議の立ち上げに向け準備を行った。	令和元年度中に立ちあげることができなかった。	0%	自殺対策を総合的に進めていくため、自殺対策検討会議を立ち上げる。
3-1. 地域におけるネットワークの強化	いじめ問題対策連絡協議会	教育総務課		いじめ問題対策連絡協議会	いじめ防止基本方針をもとに、現状の確認と対策について協議した。	100%	継続して実施
3-1. 地域におけるネットワークの強化	地域での見守りネットワークの構築	高齢介護課		ネットワークの周知を行っている。	気になる高齢者に対して都度、関係者からの相談や通報があった。	100%	取組を継続
3-1. 地域におけるネットワークの強化	児童虐待防止対策事業	子育て・健康課		代表者会議1回、実務者会議4回、個別ケース検討会議61回	虐待の早期発見・早期対応を目的とした関係機関の虐待に対する温度感が高まっているが、個人情報の取り扱いには課題が多く見られ、今後も周知図っていく必要がある。	実施	実施を継続
基本施策４ 生きることを促進させる要因への支援							
4-1. 居場所づくり活動	地域の通いの場	高齢介護課		548回延べ13,617名参加	参加者の憩いの場になることが出来た。参加人数を増やすことおよびボランティアの養成が必要。新型コロナウイルス感染拡大防止の為予定していた２月下旬以降の開催は中止とした。	100%	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	認知症カフェ（認知症地域支援・ケア向上事業）	高齢介護課		17回開催	元年度より毎月２回開催することができ開催が定着したが、参加者を増やすため周知を行って行きたい。新型コロナウイルス感染拡大防止の為予定していた２月下旬以降の開催は中止とした。	100%	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	子育てサロン運営事業	子育て・健康課		町内２箇所 利用者数：10,466名 相談件数：463件	継続実施	実施	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	図書館の利用	生涯学習課		開館日261日	3月の休館に伴い、計画していた日数の開館（286日）が出来なかった。	91%	感染症対策と、孤立リスク対策の両立は大きな課題であり、全庁的な対応が必要。
4-1. 居場所づくり活動	にのみや町民大学推進事業	生涯学習課		（委託）子どもチャレンジ教室：6回 （委託）町民大学一般講座：28回 （自主）バラ展：2回／鎌倉彫体験：5回	町民への様々な学習機会の提供及びきっかけ作りとなる活動を行うことができた。	参加者1,567名	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	自殺対策推進事業	子育て・健康課		自殺対策推進事業を行い必要な支援につなげられるよう窓口となっている。	自殺企図者等について関係部署に情報提供しフォロー体制を構築中である。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	子育て世代包括支援事業	子育て・健康課		子育て世代包括支援センター「にのはぐ」の相談件数全3,554件 家庭訪問：666件	母子手帳発行時から全件面接を実施し、妊婦やその家族との関係性構築を目指し、産後も相談支援につながっている。今後も、相談体勢の充実を図っていきたい。	実施	実施を継続

令和元年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和元年度実施状況	令和元年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和２年度以降）の実施計画
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	介護相談	高齢介護課		毎月町内12施設へ訪問	利用者の声を聞くことが出来た。現在派遣を行っていない施設も、協力を促したい。 新型コロナウイルス感染拡大防止の為予定していた３月以降の訪問は中止とした。	100%	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	民生委員・児童委員による地域における相談・支援	福祉保険課		役員会・定例会の定期的な実施	役員会・定例会を通じて情報の共有や勉強会を開催することができた。その他、町民に向けては広報にて周知している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	生活保護相談	福祉保険課		平塚保健福祉事務所と連携し、随時相談に応じた	ホームページにて制度説明、及び相談先の周知を実施。町に相談に来られた場合は、平塚保健福祉事務所へつなぐ支援を行った。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	成年後見制度利用支援事業	福祉保険課 高齢介護課		随時相談対応。1名の町長申立を行った	相談支援事業所やケース対応を通じて、制度の説明や資料の提供等を行った。制度の周知や申立にかかる費用の助成などが必要である。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	障害者生活支援事業	福祉保険課		町ケースワーカー・委託相談支援事業所にて実施	相談支援体制強化のため、3障害を対象に地域の社会福祉法人に相談支援の委託を実施。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	障害者虐待の対応	福祉保険課		随時相談対応	随時相談窓口及び受理体制の確保を実施。 令和元年度受理件数 0件	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	消費生活対策事業	地域政策課		・高齢者を対象とした消費生活出前講座の実施：4回/年4回 ・中学3年生を対象にした消費者被害未然防止講座の実施：1回/年2回 ・平塚市消費生活センターにおける広域相談窓口の設置	・関連リーフレットや啓発物品等を参加者へ配布し、意識啓発を図った。 ・早期に相談窓口へつながるように消費生活センターの周知徹底に努めた。	実施	事業を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	無料法律相談	地域政策課		認定司法書士による無料法律相談会開催：11回/年12回	法律面からの助言や対応の方向性を示すことで、町民が抱える悩み不安、問題解決への一助となった。	実施	事業を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	納税相談	戸籍税務課 福祉保険課		納税相談者の状況に応じて、様々な支援制度や担当機関を案内。	ヒアリングや書類調査により、納税相談者の状況把握に努めており、生活再建に向けた各種制度の案内を随時実施できている。	100%	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	心配ごと相談	福祉保険課		月1回実施	町の広報・ホームページにて周知。二宮町社会福祉協議会でもホームページにて周知している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	生活困窮者への支援	福祉保険課		随時相談対応	窓口パンフレットを配架。その他、随時相談に応じ、貸付制度や給付金等の説明を行った。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	消防との連携	消防署 子育て・健康課		該当する事案が発生した場合、随時情報提供を実施。（消防署） 小児救急搬送報告件数30件受理（子育て・健康課）	救急現場でのリーフレット配布が困難な事案が多いなかで1件配布。自殺対策として包括的な支援が行えた。（消防署） 児童虐待と医療の連携は急務であり、情報の共有化は重要。昨年度は、報告の中に虐待に繋がっている事例はなかったが、引き続き実施したい。（子育て・健康課）	100%	実施を継続。
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	健康づくりステーション（未病センターにのみや）	子育て・健康課		開設日241日、利用者延べ1,299人。	心身の健康づくりについて助言を実施している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	商工相談	産業振興課		商工会のEメール派遣事業、小規模企業支援事業により事業所へ専門家を派遣している。	Eメール派遣事業を2回、小規模企業支援強化事業のサポーター巡回をのべ344回、コーディネーター派遣12回行っており、十分な支援が図れている。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	児童虐待防止対策事業	子育て・健康課	再掲	民生委員への研修会1回 小・中学校校長会での研修1回 関係機関への児童虐待予防研修1回	昨年度は関係機関からの児童虐待に関する研修要望も複数回あったため、回数を分けて実施した。特に町主催の研修会では、多くの方が虐待が身近に起きていることを実感していた機会となり、研修の意義が感じられた。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	子育て世代包括支援事業	子育て・健康課	再掲	はぐくみ相談：11回 でんでんむし【教室開催分】：6回、延82組 はぐくみHUG：9回 58組（52.3%） 赤ちゃん体操：11回 実51組 延93組 離乳食教室：11回 延55組 にこにこ教室：6回 実26組、延35組	乳幼児期ほど参加率が高く、リピート率も高いことから、乳幼児期の育児不安が高いことが伺える。相談内容は日常的なことが多く、妊娠期や出産直後からの関係性からも当課を相談窓口として認識されているものだと感じる。また、復職される保護者が増加していることより、乳幼児期に寄り添い、支援を行うことの重要性を感じる。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	こんにちは赤ちゃん事業	子育て・健康課		赤ちゃん訪問118件、うち、EPDSを取った産婦107件	産院や当課赤ちゃん訪問でのEPDSが高い産婦に対しては電話や家庭訪問を継続し、支援している。今後もきめ細やかな対応を行っていききたい。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	育児・発達支援事業	子育て・健康課		親子教室（全18回）：実30組 延137組 発達支援教室（全55回）：実33名、延298名 親子相談：実138件 延165件 巡回相談：9園 16回 延101件 発達支援連絡会：1回 21名	発達や親子関係に不安を抱える親子は増加傾向にある。発達支援連絡会では発達障害を持つ児は全国的に虐待傾向が高いことから、児童虐待部門と連携を図り、研修会を実施した。こどもたちを支える職員に現場でできる対応方法などを伝え、身近の相談者として捉えて頂く機会となった。教室や相談体制の充実を図り、今後も様々な角度から発達支援を行っていききたい。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	ファミリー・サポート・センター	子育て・健康課		まかせて会員：62名 おねがい会員：173名 両方：19名	まかせて会員の養成講座は、定期日程で2回予定していたが、参加者がいなかったため、1回の開催となった。今後は、講座の手法を見直し、希望者がすぐに受講できるやり方に変更するよう検討する。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	ひとり親家庭の支援	子育て・健康課		児童扶養手当受給者：162名 ひとり親医療証受領者：171名	継続実施	実施	実施を継続
4-4. 自殺未遂者への支援	自殺未遂者支援研修の実施	子育て・健康課		参加なし	研修会の実施はできていないが、実施に向けて知識を増やしている。	実施	実施を継続
4-4. 自殺未遂者への支援	精神保健福祉普及相談事業	子育て・健康課		必要時、平塚保健福祉事務所と連携してケース対応をしている。	必要時関係機関との連携を強化し、支援している。	実施	実施を継続
4-5. 遺された人への支援	自死遺族相談	子育て・健康課		県精神保健福祉センターで実施。 毎週水曜日・木曜日、13時半～16時半。	県精神保健福祉センターで実施。	実施	実施を継続

令和元年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和元年度実施状況	令和元年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和２年度以降）の実施計画
重点施策１ 若者対策							
1-1. SOSの出し方に関する教育の実施	子どもの人権に関する教育	教育総務課		道徳や学校教育全般を通しての推進	教科化された道徳を中心として、子どもの人権意識の高揚を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	学校との連携	教育総務課		ケース会議の実施	不登校や特別支援学級の児童生徒などの情報共有を密に行い、連携の強化を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	専門職や関係機関との連携	教育総務課		支援スタッフによる定期的な打合せ	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心理教育相談員、教育支援室専任教諭との連携の強化を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	いじめ問題対策連絡協議会	教育総務課		いじめ問題対策連絡協議会	いじめ防止基本方針をもとに、現状の確認と対策について協議した。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	幼保小連携	教育総務課		幼稚園・保育園・小学校研修会、幼稚園・保育園・小学校連携推進委員会	幼稚園・保育園・小学校の連携を強化し、学校生活の円滑なスタートを図った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	就学に関する事務	教育総務課		就学相談	特別に支援を要する児童生徒に対して、きめ細やかな相談を実施。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	教育相談（いじめを含む）	教育総務課		心理教育相談員による個別相談	保護者からの、教育上の悩みなどに丁寧に対応。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用	教育総務課		ケース会議、個別の事案への助言	社会福祉の専門的な知識を生かし、多様な支援方法を助言するなどして、課題解決を図った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	不登校児童生徒への支援	教育総務課		教育支援室	不登校児童生徒を対象に、教育支援室でそれぞれの個性、課題に応じた対応を行った。	100%	継続して実施
1-4. 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実	就学援助と特別支援学級就学奨励補助に関する事務	教育総務課		就学援助と特別支援学級就学奨励補助に関する事務	経済的な理由で、就学困難な児童生徒（保護者）に対して補助を行った。	100%	継続して実施
1-4. 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実	奨学金に関する事務	教育総務課		二宮町育成奨学金	成績が優良で経済的な支援が必要な高校生（保護者）へ奨学金を給付した。	100%	継続して実施
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	命の授業	子育て・健康課		一色小学校、二宮小学校で実施。221名参加。	昨年度から継続して小学校2校で命の授業を実施し、命の大切さについて学ぶ機会となった。	実施	実施を継続
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	青少年育成地域活動	生涯学習課		子ども会指導者・青少年指導員合同研修会：2回 青少年健全育成に関するイベント：2回 （宿泊学習、クリスマスオーナメント作成）	青少年育成に携わる者に対する研修及び青少年の体験学習講座を実施することができた。	参加者168名	実施を継続
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	青少年社会環境浄化活動	生涯学習課		環境浄化パトロール等：10回 街頭キャンペーン：2回	二宮駅周辺や各公園等を中心に、夜遅くまで遊んでいる児童がいないかパトロールに取り組めた。	参加率71%	実施を継続
重点施策２ 生活困窮対策							
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活保護に関する相談	福祉保険課		平塚保健福祉事務所と連携し、随時相談に応じた	ホームページにて制度説明、及び相談先の周知を実施。町に相談に来られた場合は、平塚保健福祉事務所へつなぐ支援を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	緊急援護資金貸付事業	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活福祉資金貸付事業	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活困窮者への支援	福祉保険課		随時相談対応	窓口パンフレットを配架。その他、随時相談に応じ、貸付制度や給付金等の説明を行った。	実施	実施を継続
重点施策３ 高齢者対策							
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	地域ケア会議	高齢介護課		11回開催。多職種が参加している。	生活に課題のある高齢者に対し、多職種で協議することが出来た。	100%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	認知症総合支援事業（普及啓発）	高齢介護課		62件相談、広報やHPなどで相談を呼びかけている。	広報で特集ページを作成するなど、普及啓発ができた。	70%	実施を継続、チラシ作成、サポーター要請講座の開催
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	生活支援サービスの体制整備	高齢介護課		年4回の協議会および小学校区ごとの会議を行った。	全小学校区協議体の立ち上げが完了した。会議にて、地域での課題を話し合い、課題をどのように解決するか検討している。	60%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	総合相談事業（地域包括支援センター運営事業）	高齢介護課		相談件数803件 わかりやすい名称をつけ、周知した。	窓口や電話、FAXメールなど多様な相談方法を設けている。緊急の場合は夜間休日にも対応することが出来た。	90%	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	後期高齢者健康診査	子育て・健康課		7月～10月実施。4,952人に個別通知し、2,141人受診。	受診率向上に努めていく。	実施	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	健康相談	子育て・健康課		65歳以上の健康相談(所内)は40件で、この他未病センター利用者やイベントで健康相談を行った。	所内や所外において健康相談を実施している。	実施	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	集団健康教育	子育て・健康課		地域の通いの場等にて28回延べ686人に実施。	健康づくりについての情報提供・実践の場になっている。	実施	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	地域の通いの場	高齢介護課		548回延べ13,617名参加。	参加者の憩いの場になることが出来た。参加人数を増やすことおよびボランティアの養成が必要。新型コロナウイルス感染拡大防止の為予定していた2月下旬以降の開催は中止とした。	100%	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	認知症総合支援事業（認知症カフェ）	高齢介護課		17回開催。	元年度より毎月2回開催することができ開催が定着したが、参加者を増やすため周知を行って行きたい。新型コロナウイルス感染拡大防止の為予定していた2月下旬以降の開催は中止とした。	100%	実施を継続、普及啓発を重点に行う。
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	地域における見守り活動の推進	福祉保険課 高齢介護課 防災安全課		各種団体の会議に委員として出席し連携を図る。緊急時については、迅速に対応できるよう事前に要支援登録を行うよう依頼。ネットワークの周知を行っている。	各種委員会への出席。すべての要支援登録者の情報更新を行った。気になる高齢者に対して都度、関係者からの相談や通報があった。	実施 100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	ほっと安心ヘルパー派遣	高齢介護課		シルバー人材センターを通じて家事支援を行っている。	登録者に対し、実際の利用者は限られている。	100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	緊急通報システム	高齢介護課		151名利用	24時間の相談体制と人感センサーにて見守りを行っている。	100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	日常生活自立支援事業（あんしんセンター）	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	にのみや社協たすけあいネットワーク	福祉保険課		社会福祉協議会のホームページでの周知に加え、相談対応の中で随時紹介等支援を実施	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
重点施策４ 働き盛り世代対策							
4-1. 働き盛り世代対策	地域産業の育成・発展	産業振興課		商工会において、集団指導や個別指導、またセミナーを実施している。	集団指導を7回（のべ164人）、個別指導を6回（のべ371人）、またセミナーを3回（46人）実施し、十分な支援が図られている。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	商工相談	産業振興課		商工会のITサポート派遣事業、小規模企業支援事業により事業所へ専門家を派遣している。	ITサポート派遣事業を2回、小規模企業支援強化事業のサポーター巡回をのべ344回、コーディネーター派遣12回行っており、十分な支援が図れている。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	職員ストレスチェック	総務課		職員健康診断実施に伴い職員ストレスチェックを行った。	高ストレス者だった者に対し、医師との面談を促すとともにメンタル不調者の把握を行うことができた。	100%	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	学校職員ストレスチェック	教育総務課		学校職員ストレスチェック	学校職員のストレスチェックを行い、メンタル不調の未然防止を図った。	100%	継続して実施
4-1. 働き盛り世代対策	特定健康診査	子育て・健康課		7月～10月実施。5,346人に個別通知し、2,019人受診（人間ドック受診者含む）。	受診率向上に努めていく必要がある。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	特定健康診査の保健指導	子育て・健康課		9月～対象者144人に実施中。	保健指導の利用率向上に努めていく必要がある。	実施	実施を継続

令和2年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和2年度実施状況	令和2年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和3年度以降）の実施計画
基本施策1 住民への普及啓発							
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	チラシによる相談窓口の周知	子育て・健康課		庁内窓口等にチラシを配架し、相談窓口の周知を図った。	悩んでいる周囲の方に相談窓口が届くように、相談窓口の周知を図ることができた。	実施	実施を継続
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	リーフレットによる心の健康づくりに関する周知	子育て・健康課		庁内窓口、保健センター等で心の健康に関するリーフレットの配布を実施。	心の健康を保つことは重要であり、窓口や未病センター等で普及啓発を行うことができた。	実施	実施を継続
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	図書館の管理	生涯学習課		3回	感染症流行の中で、心の健康づくりに繋がる各種資料展示を行った。	100%	継続する。
1-2. 町民向け講演会・イベントなどの開催	こころの健康講座	子育て・健康課		実施なし	コロナ禍のため実施できなかったため、コロナ禍でも、実施できるよう検討していきたい。	0%	実施する。
1-2. 町民向け講演会・イベントなどの開催	ふるさとまつり等イベントにおける普及啓発	子育て・健康課 イベント実施関係各課		実施なし	コロナ禍のため実施できなかったため、コロナ禍でも、実施できるよう検討していきたい。	0%	実施する。
1-3. メディアを活用した啓発活動	広報紙・ホームページを通じた広報活動	地域政策課 子育て・健康課		・自殺予防週間(9月)については啓発記事を、自殺対策強化月間(3月)について啓発記事及び相談会の案内を広報紙へ掲載 ・通年でのホームページによる相談窓口等の周知を実施	広報紙面の確保とホームページの活用により、「心の健康」に関する普及啓発を図ることができた。	実施	実施を継続
1-3 メディアを活用した啓発活動	住民ガイドブックの発行	地域政策課 子育て・健康課		・転入者に対し、住民ガイドブック（くらしの便利帳）を配布し、相談窓口等の周知を実施	転入者に対し、他の相談窓口とともに「こころの健康相談」にかかる窓口の周知を図った。	実施	実施を継続
基本施策2 自殺対策を支える人材育成							
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	全職員を対象としたゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		実施なし	コロナ禍のため実施できなかったため、コロナ禍でも、実施できるよう検討していきたい。	0%	実施する。
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	一般住民を対象とするゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		実施なし	コロナ禍のため実施できなかったため、コロナ禍でも、実施できるよう検討していきたい。	0%	実施する。
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	各種団体を対象とするゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		実施なし	コロナ禍のため実施できなかったため、コロナ禍でも、実施できるよう検討していきたい。	0%	実施する。
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	職員メンタルヘルス研修	総務課		新型コロナウイルス感染症の影響により、市町村研修センターの研修が実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響により集合形式による研修が実施できなかった。	0%	開催方法を変更し研修を実施する
2-2. 学校教育の場における人材育成	教職員研修	教育総務課		研修会を実施	いじめ問題を中心に児童生徒指導担当者会で研修及び情報共有を実施	100%	担当者会を中心に実施
2-2. 学校教育の場における人材育成	生活指導・健全育成	教育総務課		学校教育全般を通して実施	道徳の授業を中心として、学校教育全般を通して、平日頃より児童生徒へ指導。	100%	学校教育全般を通して指導
基本施策3 地域におけるネットワークの強化							
3-1. 地域におけるネットワークの強化	二宮町自殺対策検討会議	全課		自殺対策検討会議の立ち上げを行った。	包括的な自殺対策を全庁的に推進していくため、二宮町自殺対策庁内連絡会を設置し、第1回目として、自殺対策に関する情報提供を行った。	実施	実施する。
3-1. 地域におけるネットワークの強化	いじめ問題対策連絡協議会	教育総務課		コロナの影響で書面会議にて実施。	いじめ防止基本方針をもとに、現状の確認と対策について情報共有した。	100%	年2回実施予定
3-1. 地域におけるネットワークの強化	地域での見守りネットワークの構築	高齢介護課		ネットワークの周知を行っている。	地域の見守り活動において、変化の見られる高齢者に対し、関係者からの相談や通報があった。	100%	取組を継続
3-1. 地域におけるネットワークの強化	児童虐待防止対策事業	子育て・健康課		代表者会議0回、実務者会議2回(3月緊急事態宣言発令により2回書面会議) 個別ケース検討会議45回	虐待の早期発見・早期対応を目的とした関係機関の虐待に対する温度感が高まっているが、個人情報取り扱いには課題が多く見られ、今後も周知図っていく必要がある。	実施	実施を継続
基本施策4 生きることを促進させる要因への支援							
4-1. 居場所づくり活動	地域の通いの場	高齢介護課		130回開催、延べ2,262人参加	新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言発令により中止となる期間が発生したが、活動自粛下における介護予防のための広報（啓発）を実施した。	50%	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	認知症カフェ（認知症地域支援・ケア向上事業）	高齢介護課		3回開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数が減少したが、一部開催方法をオンラインとする等工夫を行い、介護者の方等と情報交換の場を作った。	30%	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	子育てサロン運営事業	子育て・健康課		町内2箇所 利用者数：6,351名 相談件数：893件	継続実施 ※新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により4月から6月は閉所したため、年間の利用者数は大きく減少した。	実施	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	図書館の利用	生涯学習課		開館日数 227日	当初は、287日開館を計画していたが、感染症対策に伴う休館が生じた。	79%	令和3年度は、287日開館を計画している。
4-1. 居場所づくり活動	にのみや町民大学推進事業	生涯学習課		（委託）町民大学一般講座：0回	新型コロナウイルス感染症の影響により講座が全て中止となった。	0%	実施を継続するとともに、新しい生活様式に合せた生涯学習の提供を検討する。
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	自殺対策推進事業	子育て・健康課		自殺対策推進事業を実施し、必要な支援につなげられるよう窓口になっている。	必要な支援につなげられるよう体制を構築していきたい。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	子育て世代包括支援事業	子育て・健康課		はぐくみ相談：4回 でんでんむし【教室開催分】：4回、延30組 はぐくみHUG：0回 0組 赤ちゃん体操：4回 実22組 延22組 離乳食教室：4回 延23組 にこにこ教室：0回 延0組 （3月緊急事態宣言発令により中止の回あり）	コロナ禍ではあるが、乳幼児期ほど参加率が高く、リピート率も高いことから、乳幼児期の育児不安が高いことが伺える。相談内容は日常的なことが多く、妊娠期や出産直後からの関係性からも当課を相談窓口として認識されているものだと感じる。また、復職される保護者が増加していることより、乳幼児期に寄り添い、支援を行うことの重要性を感じる。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	介護相談	高齢介護課		事業所訪問なし	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所訪問は中止となった。 今後は、感染予防に配慮しつつ、どのような方法で事業所訪問を行ない、利用者の声を聞くか検討する。	0%	実施を継続

令和2年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和2年度実施状況	令和2年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和3年度以降）の実施計画
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	民生委員・児童委員による地域における相談・支援	福祉保険課		役員会・定例会の定期的な実施	役員会・定例会を通じて情報の共有や勉強会を開催することができた。その他、町民に向けては広報にて周知している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	生活保護相談	福祉保険課		平塚保健福祉事務所と連携し、随時相談に応じた	ホームページにて制度説明、及び相談先の周知を実施。町に相談に来られた場合は、平塚保健福祉事務所へつなぐ支援を行った。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	成年後見制度利用支援事業	福祉保険課 高齢介護課		随時相談対応（福祉保険課） 5名の町長申立てを行った（高齢介護課）	相談支援事業所やケース対応を通じて、制度の説明や資料の提供等を行った。その他、民生委員児童委員に対して、成年後見制度の制度説明を行った。（福祉保険課） 判断能力が低下した高齢者に必要な町長申立てを行うことができた。また、家族等からの相談に対して制度の案内を行った。（高齢介護課）	実施 （100％）	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	障害者生活支援事業	福祉保険課		町ケースワーカー・委託相談支援事業所にて実施	相談支援体制強化のため、3障害を対象に地域の社会福祉法人に相談支援の委託を実施。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	障害者虐待の対応	福祉保険課		随時相談対応	随時相談窓口及び受理体制の確保を実施。 令和2年度受理件数 0件	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	消費生活対策事業	地域政策課		・高齢者を対象とした消費生活出前講座の実施：4回/年4回※新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ・中学3年生を対象にした消費者被害未然防止講座の実施：1回/年2回※新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ・平塚市消費生活センターにおける広域相談窓口の設置	・関連リーフレットや啓発物品等を参加者へ配布し、意識啓発を図った。 ・早期に相談窓口へつなげるように消費生活センターの周知徹底に努めた。	一部実施	事業を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	無料法律相談	地域政策課		司法書士による無料法律相談会開催：9回／年12回 ※新型コロナウイルス感染症の影響で4月～6月は中止	法律面からの助言や対応の方向性を示すことで、町民が抱える悩み不安、問題解決への一助となった。	一部実施	事業を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	納税相談	戸籍税務課 福祉保険課		納税相談者の状況に応じて、様々な支援制度や担当機関を案内。	ヒアリングや書類調査により、納税相談者の状況把握に努めており、生活再建に向けた各種制度の案内を随時実施できている。	100%	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	心配ごと相談	福祉保険課		月1回実施	町の広報・ホームページにて周知。二宮町社会福祉協議会でもホームページにて周知している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	生活困窮者への支援	福祉保険課		随時相談対応	窓口パンフレットを配架。その他、随時相談に応じ、貸付制度や給付金等の説明を行った。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	消防との連携	消防署 子育て・健康課		救急隊が出動した自殺事案について、随時情報提供を実施	保健部署には、随時必要な情報を提供して連携を図り、自殺対策を講じたことにより目標達成	100%	積極的な取組みにより、更なる推進を図る
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	健康づくりステーション（未病センターにのみや）	子育て・健康課		開設日189日、利用者延べ488人。	心身の健康づくりについて助言を実施している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	商工相談	産業振興課		商工会のイミート派遣事業、小規模企業支援事業により事業所へ専門家を派遣している。	イミート派遣事業を2回、小規模企業支援強化事業のサポーター巡回をのべ344回、コーディネーター派遣12回行っており、十分な支援が図れている。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	児童虐待防止対策事業	子育て・健康課	再掲	代表者会議0回、実務者会議2回(30分緊急事態宣言発令のため) 個別ケース検討会議45回 はぐくみ相談：4回	虐待の早期発見・早期対応を目的とした関係機関の虐待に対する温度感は高まっているが、個人情報取り扱いには課題が多く見られ、今後も周知図っていく必要がある。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	子育て世代包括支援事業	子育て・健康課	再掲	はぐくみ相談：4回 でんでんむし【教室開催分】：4回、延30組 はぐくHUG：0回 0組 赤ちゃん体操：4回 実22組 延22組 離乳食教室：4回 延23組 にこにこ教室：0回 延0組 （30分緊急事態宣言発令により中止の回あり）	コロナ禍ではあるが、乳幼児期ほど参加率が高く、リピート率も高いことから、乳幼児期の育児不安が高いことが伺える。相談内容は日常なことが多く、妊娠期や出産直後からの関係性からも当課を相談窓口として認識されているものだと感じる。また、復職される保護者が増加していることより、乳幼児期に寄り添い、支援を行うことの重要性を感じる。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	こんにちは赤ちゃん事業	子育て・健康課		赤ちゃん訪問63件、うち、EPDSを取った産婦56件(30分緊急事態宣言発令により電話による対応期間あり)	コロナ禍ではあるが、産院や当課赤ちゃん訪問でのEPDSが高い産婦に対しては電話や家庭訪問を継続し、支援している。今後もきめ細やかな対応を行っていきたい。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	育児・発達支援事業	子育て・健康課		親子教室（全12回）：実30組 延137組 発達支援教室（全40回）：実29名、延256名 親子相談：実171件 延197件 巡回相談：5園 5回 延11件 発達支援連絡会：0回(30分禍により中止) （30分緊急事態宣言発令により中止の回あり）	発達や親子関係に不安を抱える親子は、コロナ禍においても増加傾向にあるが、教室や相談体制の充実を図り、今後も様々な角度から発達支援を行っていきたい。 発達支援連絡会は、コロナ禍であるため中止となった。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	ファミリー・サポート・センター	子育て・健康課		まかせて会員 68人 おねがい会員 193人 両方会員 19人 援助活動の件数 600件	まかせて会員の養成講座は、令和元年度まで定期日程で2回実施していたが、参加者がいなかったため、令和2年度途中に見直しし、定期開催ではなく、希望者がその場で講座を受講できるよう変更した。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	ひとり親家庭の支援	子育て・健康課		対象世帯数 児童扶養手当：131世帯 ひとり親医療：156世帯	継続実施 ※新型コロナウイルスにより「児童扶養手当受給者特別給付金」を支給した。	実施	実施を継続
4-4. 自殺未遂者への支援	自殺未遂者支援研修の実施	子育て・健康課		県精神保健福祉センターで実施。	窓口へちらしを配架し普及啓発している。	実施	実施を継続
4-4. 自殺未遂者への支援	精神保健福祉普及相談事業	子育て・健康課		県精神保健福祉センター、平塚保健福祉事務所で実施。	町の広報、HPにて周知。その他随時相談で照会している。	実施	実施を継続
4-5. 遺された人への支援	自死遺族相談	子育て・健康課		県精神保健福祉センターで実施。	窓口へちらしを配架し普及啓発している。	実施	実施を継続

令和2年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

重点施策1 若者対策							
1-1. SOSの出し方に関する教育の実施	子どもの人権に関する教育	教育総務課		道徳や学校教育全般を通しての推進	教科化された道徳を中心として、子どもの人権意識の高揚を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	学校との連携	教育総務課		ケース会議の実施	不登校や特別支援学級の児童生徒などの情報共有を密に行い、連携の強化を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	専門職や関係機関との連携	教育総務課		支援スタッフによる定期的な打合せ	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心理教育相談員、教育支援室専任教諭との連携の強化を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	いじめ問題対策連絡協議会	教育総務課		いじめ問題対策連絡協議会	コロナの影響で対面での会議は開けなかったが、いじめ防止基本方針をもとに、現状の確認と対策について情報共有を行った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	幼保小連携	教育総務課		幼稚園・保育園・小学校研修会、幼稚園・保育園・小学校連携推進委員会	幼稚園・保育園・小学校の連携を強化し、学校生活の円滑なスタートを図った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	就学に関する事務	教育総務課		就学相談	特別に支援を要する児童生徒に対して、きめ細やかな相談を実施。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	教育相談（いじめを含む）	教育総務課		心理教育相談員による個別相談	保護者からの、教育上の悩みなどに丁寧に対応した。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用	教育総務課		ケース会議、個別の事案への助言	社会福祉の専門的な知識を生かし、多様な支援方法を助言するなどして、課題解決を図った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	不登校児童生徒への支援	教育総務課		教育支援室	不登校児童生徒を対象に、教育支援室でそれぞれの個性、課題に応じた対応を行った。	100%	継続して実施
1-4. 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実	就学援助と特別支援学級就学奨励補助に関する事務	教育総務課		経済的に就学困難な家庭に、義務教育に係る経費の一部を補助（学用品、校外活動費、給食費等）	制度に基づき適正に実施をした。	100%	継続して実施
1-4. 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実	奨学金に関する事務	教育総務課		二宮町育英会の自主運営により、高等学校生徒に学資を支給	制度に基づき適正に実施をした。	100%	継続して実施
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	命の授業	子育て・健康課		実施なし	コロナ禍のため実施できなかったため、コロナ禍でも、実施できるよう検討していきたい。	0%	実施する。
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	青少年育成地域活動	生涯学習課		計画事業全てが中止となった。	計画事業すべての中止により、青少年育成に携わる者に対する研修や青少年の体験学習講座を実施することができず、これらによる効果が得られなかった。	0%	実施を継続
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	青少年社会環境浄化活動	生涯学習課		各種パトロールが12回中10回、街頭キャンペーン2回が全て中止となった。	新型コロナウイルス感染症の為、各種パトロール及び街頭キャンペーンの多くが中止となり、これらによる効果が得られなかった。	0%	実施を継続するとともに時代のニーズに合わせたあり方を検討する。
重点施策2 生活困窮対策							
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活保護に関する相談	福祉保険課		平塚保健福祉事務所と連携し、随時相談に応じた	ホームページにて制度説明、及び相談先の周知を実施。町に相談に来られた場合は、平塚保健福祉事務所へつなぐ支援を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	緊急援護資金貸付事業	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活福祉資金貸付事業	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活困窮者への支援	福祉保険課		随時相談対応	窓口パンフレットを配架。その他、随時相談に応じ、貸付制度や生活困窮者自立支援制度の説明を行った。	実施	実施を継続
重点施策3 高齢者対策							
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	地域ケア会議	高齢介護課		6回開催	新型コロナウイルス感染拡大防止や緊急事態宣言発令により一部中止となったが、個別事例の検討や高齢者虐待防止、認知症施策に関する意見交換を多職種で行った。	50%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	認知症総合支援事業（普及啓発）	高齢介護課		認知症相談68件。認知症サポーター養成講座を4回実施し29名が受講した。	養成講座の開催以外にも、講座の周知活動や、受講者が在籍する事業所に対してステッカーを配布するなど広報活動を行うことができた。	100%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	生活支援サービスの体制整備	高齢介護課		協議会は1回開催し、小学校区のうち一部を除き会議を行った。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染予防や人数制限を設けたうえで会議を開催し、コロナ禍での地域での活動方法について検討を行った。	80%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	総合相談事業（地域包括支援センター運営事業）	高齢介護課		総合相談件数815件	平日の窓口や電話対応以外にも、メール等を利用し遠方に住む高齢者家族等からの相談をしやすい体制を設けている。緊急時には夜間休日の対応も行った。	100%	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	後期高齢者健康診査	子育て・健康課		9月～1月実施。5,353人に個別通知し、2,154人受診。	受診率向上に努めていく。	実施	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	健康相談	子育て・健康課		65歳以上の健康相談(所内)は39件で、この他未病センターにおいて健康相談を行った。	所内や所外において健康相談を実施している。	実施	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	集団健康教育	子育て・健康課		地域の通いの場がコロナ禍のため一部しか実施できなかった。	健康づくりについての情報提供・実践の場になっている。	実施	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	地域の通いの場	高齢介護課		130回開催、延べ2,262人が参加した。	新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言発令により中止となる期間が発生したが、活動自粛下における介護予防のための広報(啓発)を実施した。	50%	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	認知症総合支援事業（認知症カフェ）	高齢介護課		3回開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数が減少したが、一部開催方法をオンラインとする等工夫を行い、介護者の方等と情報交換の場を作った。	30%	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	地域における見守り活動の推進	福祉保険課 高齢介護課 防災安全課		各種団体の会議に委員として出席し連携を図る。緊急時については、迅速に対応できるよう事前に要支援登録を行うよう依頼（福祉保険課） 医療情報シート登録者一覧を民生委員及び地区自主防災へ情報提供を行った（高齢介護課）未実施（防災安全課）	各種委員会への出席。すべての要支援登録者の情報更新を行った。（福祉保険課） 一覧表の情報提供及び、登録した高齢者に対し医療情報シートを配布を行い、緊急時に親族や医療機関と連携を図ることができるようになっている。（高齢介護課） コロナの影響で地区活動のほとんどが中止（防災安全課）	実施 (100%) 0%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	ほっと安心ヘルパー派遣	高齢介護課		シルバー人材センターへ委託し、家事支援を行った。	早朝のごみ出し等や除草等、高齢者のみで行うことが困難な家事サービスを継続して提供した。	100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	緊急通報システム	高齢介護課		156名登録、918件の通報を受けた。	24時間体制での相談受付と人感センサーにより高齢者の見守りを継続して実施した。	100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	日常生活自立支援事業（あんしんセンター）	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	にのみや社協たすけあいネットワーク	福祉保険課		社会福祉協議会のホームページでの周知に加え、相談対応の中で随時紹介等支援を実施	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
重点施策4 働き盛り世代対策							
4-1. 働き盛り世代対策	地域産業の育成・発展	産業振興課		商工会において、集団指導や個別指導、またセミナーを実施している。	集団指導を7回（のべ164人）、個別指導を6回（のべ371人）、またセミナーを3回（46人）実施し、十分な支援が図られている。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	商工相談	産業振興課		商工会のEメール派遣事業、小規模企業支援事業により事業所へ専門家を派遣している。	Eメール派遣事業を2回、小規模企業支援強化事業のサポーター巡回をのべ344回、コーディネーター派遣12回行っており、十分な支援が図れている。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	職員ストレスチェック	総務課		職員健康診断実施に伴い職員ストレスチェックを行った。	高ストレス者だった者に対し、医師との面談を促すとともにメンタル不調者の把握を行うことができた。	100%	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	学校職員ストレスチェック	教育総務課		健康診断と併せてストレスチェックを実施	労働安全衛生法に基づき、学校職員等のストレスチェックを実施し、メンタル不調の未然防止を図った。	100%	継続して実施
4-1. 働き盛り世代対策	特定健康診査	子育て・健康課		9月～1月実施。5,343人に個別通知し、1,747人受診（人間ドック受診者含む）。	受診率向上に努めていく必要がある。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	特定健康診査の保健指導	子育て・健康課		対象者129人に実施中。	保健指導の利用率向上に努めていく必要がある。	実施	実施を継続

令和3年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和3年度実施状況	令和3年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和4年度以降）の実施計画
基本施策１ 住民への普及啓発							
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	チラシによる相談窓口の周知	子育て・健康課		庁内窓口等にチラシを配架し、相談窓口の周知を図った。	悩んでいる周囲の方に相談窓口が届くように、相談窓口の周知を図ることができた。	実施	実施を継続
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	リーフレットによる心の健康づくりに関する周知	子育て・健康課		庁内窓口、保健センター等で心の健康に関するリーフレットの配布を実施。	心の健康を保つことは重要であり、窓口や未病センター等で普及啓発を行うことができた。	実施	実施を継続
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	図書館の管理	生涯学習課		2回	心身の健康をテーマにした図書展示を年間2回実施	100%	心の健康をテーマにした展示を3月に実施予定している。
1-2. 町民向け講演会・イベントなどの開催	こころの健康講座	子育て・健康課		12月に実施し28人参加。精神科医より「コロナ禍の日々、こころの健康を保ために大切なこと」についての講演。	アンケート結果より96%の方が参考になったと答えており、満足度の高い講座が実施できた。	実施	実施を継続
1-2. 町民向け講演会・イベントなどの開催	ふるさとまつり等イベントにおける普及啓発	子育て・健康課 イベント実施関係各課		実施なし	コロナ禍のため実施できなかったため、コロナ禍でも、実施できるよう検討していきたい。	0%	実施を継続
1-3. メディアを活用した啓発活動	広報紙・ホームページを通じた広報活動	地域政策課 子育て・健康課		・自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に啓発記事を、予防週間については、関連講座記事を併せて広報紙へ掲載（地域政策課） ・通年での広報紙、ホームページによる相談窓口の周知を実施（地域政策課）	・広報紙面の確保とホームページの活用により、「こころの健康」に関する普及啓発を図ることができた。（地域政策課）	実施（地域政策課）	事業を継続（地域政策課）
1-3 メディアを活用した啓発活動	住民ガイドブックの発行	地域政策課 子育て・健康課		・転入者に対し、住民ガイドブック（くらしの便利帳）を配布し、相談窓口等の周知を実施（地域政策課）	・転入者に対し、他の相談窓口とともに「こころの健康相談」にかかる窓口の周知を図ることができた。（地域政策課）	実施（地域政策課）	事業を継続（地域政策課）
基本施策２ 自殺対策を支える人材育成							
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	全職員を対象としたゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		未受講者と新採用職員を対象として28人参加。（1月一般住民と同時実施）	これまで183名の職員にゲートキーパーの養成ができている。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	一般住民を対象とするゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		1月に実施。11人参加。（職員と同時実施）	これまで延べ376名にゲートキーパーの養成ができている。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	各種団体を対象とするゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		健康づくり普及委員やヘルスメイト等地域で活躍する団体へ講座への参加勧奨を行った。	地域で活躍する方へゲートキーパー養成講座を普及している。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	職員メンタルヘルス研修	総務課		新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、市町村研修センターでの研修が実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響により集合形式による研修が実施できなかった。	0%	開催方法を検証し、研修を実施する。
2-2. 学校教育の場における人材育成	教職員研修	教育総務課		研修会を実施	いじめ問題を中心に児童生徒指導担当者会等で研修及び情報共有を実施	100%	担当者会を中心に実施
2-2. 学校教育の場における人材育成	生活指導・健全育成	教育総務課		学校教育全般を通して実施	道徳の授業を中心として、学校教育全般を通して、平日頃より児童生徒へ指導。	100%	学校教育全般を通して指導
基本施策３ 地域におけるネットワークの強化							
3-1. 地域におけるネットワークの強化	二宮町自殺対策検討会議	全課		実施なし	コロナ等の対応で会議を開催することができなかった。	0%	開催する
3-1. 地域におけるネットワークの強化	いじめ問題対策連絡協議会	教育総務課		年2回実施	いじめ防止基本方針をもとに、現状の確認と対策について情報共有した。	100%	年2回実施予定
3-1. 地域におけるネットワークの強化	地域での見守りネットワークの構築	高齢介護課		ネットワークの周知を行っている。	地域の見守り活動において、変化の見られる高齢者に対し、関係者からの相談や通報があった。	100%	取組を継続
3-1. 地域におけるネットワークの強化	児童虐待防止対策事業	子育て・健康課		代表者会議1回、実務者会議4回(30ヶ緊急事態宣言発令により2回書面会議) 個別ケース検討会議114回	虐待の早期発見・早期対応を目的とした関係機関の虐待に対する温度感が高まっているが、個人情報取り扱いには課題が多く見られ、今後も周知図っていく必要がある。	実施	実施を継続
基本施策４ 生きることを促進させる要因への支援							
4-1. 居場所づくり活動	地域の通いの場	高齢介護課		223回開催、延べ4,033人参加	新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言発令により中止となる期間が発生したが、活動自粛下における介護予防のための広報（啓発）を実施した。	50%	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	認知症カフェ（認知症地域支援・ケア向上事業）	高齢介護課		11回開催	オンライン参加も可能とする体制をとるとともに、講師を招き介護経験やダブルケア等に関することをテーマとした参加者同士の意見交換の場を設けた。	90%	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	子育てサロン運営事業	子育て・健康課		町内2箇所 利用者数：6,481名 相談件数：1,224件	利用者数、相談件数ともに昨年度に比べ増加したが、新型コロナウイルスの影響による閉所期間が昨年度より約2か月少ないことを考慮すると、利用者数は減少傾向にあると考えられる。 ※令和2年度 開所期間 約9か月 利用者数：6,351名、相談件数：863件 ※令和3年度 開所期間 約11か月	実施	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	図書館の利用	生涯学習課		開館日数257日（特設カウンター28日）	当初は、287日開館を計画していたが、感染症対策に伴う休館が生じた。8月～9月の臨時休館児は特設カウンターを開設し、貸出を行った。	90%	年間開館日数286日を予定している。
4-1. 居場所づくり活動	にのみや町民大学推進事業	生涯学習課		町民大学講座12講座中8講座実施	コロナ禍ではあったが8講座を実施でき延べ169人の参加があった。	67%	12講座を実施予定。引き続き居場所づくりに努める。
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	自殺対策推進事業	子育て・健康課		自殺対策推進事業を実施し、必要な支援につなげられるよう窓口になっている。	必要な支援につなげられるよう体制を構築していきたい。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	子育て世代包括支援事業	子育て・健康課		はぐくみ相談：10回 はぐくみHUG：0回 0組 赤ちゃん体操：10回 実52組 延76組 離乳食教室：9回 延18組 （30ヶ緊急事態宣言発令により中止の回あり）	乳幼児期ほど参加率が高く、リピート率も高いことから、乳幼児期の育児不安が高いことが伺える。相談内容は日常的なことが多く、妊娠期や出産直後からの関係性からも当課を相談窓口として認識されているものだと感じる。また、復職される保護者が増加していることより、乳幼児期に寄り添い、支援を行うことの重要性を感じる。	実施	実施を継続

令和3年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和3年度実施状況	令和3年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和4年度以降）の実施計画
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	介護相談	高齢介護課		事業所訪問なし	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所訪問は中止となったが、新規の介護サービス相談員の養成を行った。今後は、感染予防に配慮しつつ、どのような方法で事業所訪問を行ない、利用者の声を聞か事業所アンケートを実施する。	10%	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	民生委員・児童委員による地域における相談・支援	福祉保険課		役員会・定例会の定期的な実施	役員会・定例会を通じて情報の共有や勉強会を開催。その他、社協での心配事相談や地域の活動にて見守り・相談を継続実施している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	生活保護相談	福祉保険課		平塚保健福祉事務所と連携し、随時相談に応じた	ホームページにて制度説明、及び相談先の周知を実施。町に相談に来られた場合は、平塚保健福祉事務所へつなぐ支援を行った。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	成年後見制度利用支援事業	福祉保険課 高齢介護課		1名の町長申立てを行った。随時相談対応。（高齢介護課）	判断能力が低下した高齢者に必要な町長申立てを行うことができた。また、家族等からの相談に対して制度の案内を行った。（高齢介護課）相談支援事業所やケース対応を通じて、制度の説明や資料の提供等を行った。その他、民生委員児童委員に対して、成年後見制度の制度説明を行い周知した。（福祉保険課）	100％・実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	障害者生活支援事業	福祉保険課		町ケースワーカー・委託相談支援事業所にて実施	相談支援体制強化のため、3障害を対象に地域の社会福祉法人に相談支援の委託を実施。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	障害者虐待の対応	福祉保険課		随時相談対応	随時相談窓口及び受理体制の確保を実施。 令和2年度受理件数 0件	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	消費生活対策事業	地域政策課		・高齢者を対象とした消費生活出前講座の実施：1回/年3回※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部中止 ・中学3年生を対象にした消費者被害未然防止講座の実施：0回/年2回※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点か中止 ・平塚市消費生活センターにおける広域相談窓口の設置	・関連リーフレットやチラシの配架、講座参加者へは啓発物品等を配布し、意識啓発を図った。 ・早期に相談窓口へつながるように平塚市消費生活センターの周知徹底に努めた。	一部実施	事業を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	無料法律相談	地域政策課		認定司法書士による無料法律相談会開催：12回/年12回	・法律面からの助言や対応の方向性を示すことで、町民が抱える悩み不安、問題解決への一助となった。 ヒアリングや書類調査により、納税相談者の状況把握に努めており、生活再建に向けた各種制度の案内を随時実施できている。（戸籍税務課）	実施	事業を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	納税相談	戸籍税務課 福祉保険課		納税相談者の状況に応じて、様々な支援制度や担当機関を案内。	町の広報・ホームページにて周知。二宮町社会福祉協議会でもホームページにて周知している。	100%	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	心配ごと相談	福祉保険課		月1回実施	窓口パンフレットを配架。その他、随時相談に応じ、貸付制度や給付金等の説明を行った。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	生活困窮者への支援	福祉保険課		随時相談対応	救急現場の状況や処置した対応について情報提供実施。担当部署と連携を図り自殺対策を講じたことにより目標達成。（消防課）	100%（消防課）	継続して、更なる推進を図る。（消防課）
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	消防との連携	消防署 子育て・健康課		開設日178日、利用者延べ575人	心身の健康づくりについて助言を実施している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	健康づくりステーション（未病センターにのみや）	子育て・健康課		開設日178日、利用者延べ575人	相談内容に応じて、税理士等の専門家を派遣し、融資や種補助金の案内をはじめ、事業継続や税務に関する指導を行い、各事業所が抱える経営課題解決の力となることができていた。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	商工相談	産業振興課		二宮町商工会での専門家派遣による相談窓口の設置。年間338人の個別指導を行った。 代表者会議1回、実務者会議4回（30分緊急事態宣言発令により2回書面会議） 個別ケース検討会議114回	虐待の早期発見・早期対応を目的とした関係機関の虐待に対する温度感が高まっているが、個人情報の取り扱いには課題が多く見られ、今後も周知図っていく必要がある。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	児童虐待防止対策事業	子育て・健康課	再掲	はぐくみ相談：10回 はぐくみHUG：0回 0組 赤ちゃん体操：10回 実52組 延76組 離乳食教室：9回 延18組 （30分緊急事態宣言発令により中止の回あり）	乳幼児期ほど参加率が高く、リピート率も高いことから、乳幼児期の育児不安が高いことが伺える。相談内容は日常的なことが多く、妊娠期や出産直後からの関係性からも当課を相談窓口として認識されているものだと感じる。また、復職される保護者が増加していることより、乳幼児期に寄り添い、支援を行うことの重要性を感じる。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	子育て世代包括支援事業	子育て・健康課	再掲	赤ちゃん訪問112件、うち、EPDSを取った産婦89件（30分緊急事態宣言発令により電話による対応期間あり）	産院や当課赤ちゃん訪問でのEPDSが高い産婦に対しては電話や家庭訪問を継続し、支援している。今後もきめ細やかな対応を行っていきたい。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	こんにちは赤ちゃん事業	子育て・健康課		親子教室（全18回）：実30組 延137組 発達支援教室（全58回）：実52名、延507名 親子相談：実144件 延190件 巡回相談：8園 19回 延48件 発達支援連絡会：0回（30分禍により中止） （30分緊急事態宣言発令により中止の回あり）	発達や親子関係に不安を抱える親子は、コロナ禍においても増加傾向にあるが、教室や相談体制の充実を図り、今後も様々な角度から発達支援を行っていきたい。 発達支援連絡会は、コロナ禍であるため中止となった。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	育児・発達支援事業	子育て・健康課		まかせて会員 79人 おねがい会員 144人 両方会員 11人 援助活動の件数 890件	援助活動の件数が昨年度に比べ290件増加し、利用者は増えている。今後も様々な家庭への援助活動を実施する。 ※コロナ禍前の令和元年度は援助活動件数：1,112件	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	ファミリー・サポート・センター	子育て・健康課		対象世帯数 児童扶養手当：141世帯 ひとり親医療：153世帯	・低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）を給付し、支援を行った。 ・ひとり親世帯への医療助成も継続して実施した。	実施	実施を継続
4-4. 自殺未遂者への支援	自殺未遂者支援研修の実施	子育て・健康課		県精神保健福祉センターで実施。	窓口へちらしを配架し普及啓発している。	実施	実施を継続
4-4. 自殺未遂者への支援	精神保健福祉普及相談事業	子育て・健康課		県精神保健福祉センター、平塚保健福祉事務所で実施。	町の広報、HPにて周知。その他随時相談で照会している。	実施	実施を継続
4-5. 遺された人への支援	自死遺族相談	子育て・健康課		県精神保健福祉センターで実施。	窓口へちらしを配架し普及啓発している。	実施	実施を継続

令和3年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和3年度実施状況	令和3年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和4年度以降）の実施計画
重点施策1 若者対策							
1-1. SOSの出し方に関する教育の実施	子どもの人権に関する教育	教育総務課		道徳や学校教育全般を通しての推進 人権に関する職員研修を各校で実施	教科化された道徳を中心として、学校の教育活動全体を通じて子どもの人権意識の高揚を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	学校との連携	教育総務課		ケース会議の実施	不登校や支援の必要な児童生徒などの情報共有を密に行い、連携の強化を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	専門職や関係機関との連携	教育総務課		支援スタッフによる定期的な打合せ	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心理教育相談員、教育支援室専任教諭との連携の強化を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	いじめ問題対策連絡協議会	教育総務課		いじめ問題対策連絡協議会	いじめ防止基本方針をもとに、現状の確認と対策について情報共有を行った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	幼保小連携	教育総務課		幼稚園・保育園・小学校研修会、幼稚園・保育園・小学校連携推進委員会	幼稚園・保育園・小学校の連携を強化し、学校生活の円滑なスタートを図った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	就学に関する事務	教育総務課		就学相談	特別に支援を要する児童生徒に対して、きめ細やかな相談を実施。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	教育相談（いじめを含む）	教育総務課		心理教育相談員による個別相談	保護者からの、教育上の悩みなどに丁寧に対応した。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）の活用	教育総務課		ケース会議、個別の事案への助言	社会福祉の専門的な知識を生かし、多様な支援方法を助言するなどして、課題解決を図った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	不登校児童生徒への支援	教育総務課		教育支援室	不登校児童生徒を対象に、教育支援室でそれぞれの個性、課題に応じた対応を行った。	100%	継続して実施
1-4. 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実	就学援助と特別支援学級就学奨励補助に関する事務	教育総務課		経済的に就学困難な家庭に、義務教育に係る経費の一部を補助（学用品、校外活動費、給食費等）	制度に基づき適正に実施をした。	100%	継続して実施
1-4. 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実	奨学金に関する事務	教育総務課		二宮町育英会の自主運営により、高等学校生徒に学資を支給	制度に基づき適正に実施をした。	100%	継続して実施
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	命の授業	子育て・健康課		実施なし	コロナ禍のため実施できなかったため、早めに調整しコロナ禍でも、実施できるよう検討していきたい。	0%	継続して実施
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	青少年育成地域活動	生涯学習課		万全なコロナ対策のうえVamos Liveを開催した。青少年向けの研修会は新型コロナウイルスのため中止となった。	ダンスパフォーマンスの部13組、バンド演奏の部2組の参加があり、青少年の日ごろの成果の発表の場を提供することができた。	50%	青少年のための研修及びVamos Liveを実施する。
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	青少年社会環境浄化活動	生涯学習課		年11回予定の環境浄化パトロールを6回開催した。	新型コロナウイルス感染症の為、十分な効果が得られなかった。	55%	実施を継続するとともに今後のあり方を検討する。
重点施策2 生活困窮対策							
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活保護に関する相談	福祉保険課		平塚保健福祉事務所と連携し、随時相談に応じた	ホームページにて制度説明、及び相談先の周知を実施。町に相談に来られた場合は、平塚保健福祉事務所へつなぐ支援を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	緊急援護資金貸付事業	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活福祉資金貸付事業	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活困窮者への支援	福祉保険課		随時相談対応	窓口にパンフレットを配架。その他、随時相談に応じ、貸付制度や生活困窮者自立支援制度の説明を行った。	実施	実施を継続
重点施策3 高齢者対策							
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	地域ケア会議	高齢介護課		11回開催	感染症まん延時には、オンライン形式での開催とし、個別事例の検討や高齢者虐待防止、認知症高齢者に関する地域課題について意見交換を行った。	90%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	認知症総合支援事業（普及啓発）	高齢介護課		認知症相談80件。認知症サポーター養成講座を25回実施し552名が受講した。	町職員、中学校生徒の他各種団体でボランティア活動をされている方や地域の方に対し養成講座を実施した。	100%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	生活支援サービスの体制整備	高齢介護課		第1層協議体を3回開催し、第二層協議体については、各小学校区において実施した。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部中止となったが、オンラインや感染対策を行った上で会議を開催し、コロナ禍での地域での活動方法や高齢者の生活を支える地域課題について情報交換を行った。	80%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	総合相談事業（地域包括支援センター運営事業）	高齢介護課		総合相談件数834件	平日の窓口や電話対応以外にも、メール等を利用し遠方に住む高齢者家族等からの相談をしやすい体制を設けている。緊急時には夜間休日の対応も行った。	100%	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	後期高齢者健康診査	子育て・健康課		6月～11月実施。5,324人に個別通知し、2,092人受診。	受診率向上に努めていく。	実施	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	健康相談	子育て・健康課		高齢者の健康相談(所内)は25件で、この他未病センターにおいて健康相談を行った。	所内や所外において健康相談を実施している。	実施	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	集団健康教育	子育て・健康課		地域の通いの場がコロナ禍のため一部しか実施できなかった。	健康づくりについての情報提供・実践の場になっている。	実施	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	地域の通いの場	高齢介護課		223回開催、延べ4,033人参加	新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言発令により中止となる期間が発生したが、活動自粛下における介護予防のための広報（啓発）を実施した。	50%	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	認知症総合支援事業（認知症カフェ）	高齢介護課		11回開催	オンライン参加も可能とする体制をとるとともに、講師を招き介護経験やダブルケア等に関することをテーマとした参加者同士の意見交換の場を設けた。	90%	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	地域における見守り活動の推進	福祉保険課 高齢介護課 防災安全課		医療情報シート登録者一覧を民生委員及び地区自主防災へ情報提供を行った。（高齢介護課） 地域の民生委員が各種団体の会議に委員として出席し連携を図る。また、要支援登録をされている方を中心に、地域の声かけ・見守り活動を実施。（福祉保険課） 規模を縮小して実施（防災安全課）	一覧表の情報提供及び、登録した高齢者に対し医療情報シートを配布を行い、緊急時に親族や医療機関と連携を図ることができるようになっている。（高齢介護課） 各種委員会への出席。すべての要支援登録者の情報更新を行った。（福祉保険課） 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から全面的な実施はできていないものの、一部活動については実施することができた。（防災安全課）	100% (高齢介護課) 実施 (福祉保険課) 50% (防災安全課)	実施を継続（高齢介護課・福祉保険課・防災安全課）
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	ほっと安心ヘルパー派遣	高齢介護課		シルバー人材センターへ委託し、家事支援を行った。	早朝のこみ出し等や除草等、高齢者のみで行うことが困難な家事サービスを継続して提供した。	100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	緊急通報システム	高齢介護課		177名の登録者に対し緊急対応等必要な支援を行った。	24時間体制での相談受付と人感センサーにより高齢者の見守りを継続して実施した。	100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	日常生活自立支援事業（あんしんセンター）	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	にのみや社協たすけあいネットワーク	福祉保険課		社会福祉協議会のホームページでの周知に加え、相談対応の中で随時紹介等支援を実施	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
重点施策4 働き盛り世代対策							
4-1. 働き盛り世代対策	地域産業の育成・発展	産業振興課		二宮町商工会での専門家派遣によるセミナーの実施。 年間59人の集団指導を行った。	電子インボイス対応やBCP対策など、事業継続力に関するセミナーを開催し、時代の変化に対応するための力を事業所に指導することができていた。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	商工相談	産業振興課		二宮町商工会でのエキスパート派遣事業(1)、コーディネーター派遣事業(2)の実施。(1)年間6回実施 (2)年間2回実施	各派遣事業では、販路開拓や事業継続力強化を目的に専門家を派遣し、コロナ禍での売上減少や事業存続に関する課題解決の力となることができていた。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	職員ストレスチェック	総務課		職員健康診断の実施と併せて、職員ストレスチェックを実施した。	高ストレスに該当した職員に対し、医師との面談を促すとともに、メンタル不調にある職員の把握を行うことができた。	100%	継続して実施していく。
4-1. 働き盛り世代対策	学校職員ストレスチェック	教育総務課		健康診断と併せてストレスチェックを実施	労働安全衛生法に基づき、学校職員等のストレスチェックを実施し、メンタル不調の未然防止を図った。	100%	継続して実施
4-1. 働き盛り世代対策	特定健康診査	子育て・健康課		6月～11月実施。5,204人に個別通知し、1,690人受診（人間ドック受診者含む）。	受診率向上に努めていく必要がある。	実施	継続して実施
4-1. 働き盛り世代対策	特定健康診査の保健指導	子育て・健康課		対象者122人に実施中。	保健指導の利用率向上に努めていく必要がある。	実施	継続して実施

令和4年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和4年度実施状況	令和4年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和5年度以降）の実施計画
基本施策1 住民への普及啓発							
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	チラシによる相談窓口の周知	子育て・健康課		庁内窓口等にチラシを配架し、相談窓口の周知を図った。	悩んでいる周囲の方に相談窓口が届くように、相談窓口の周知を図ることができた。	実施	実施を継続
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	リーフレットによる心の健康づくりに関する周知	子育て・健康課		庁内窓口、保健センター等で心の健康に関するリーフレットの配布を実施。	心の健康を保つことは重要であり、町内窓口や未病センター等で普及啓発を行うことができた。	実施	実施を継続
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	図書館の管理	生涯学習課		4回	自殺対策強化月間（3月）を含め、心身の健康に関する資料展示を4回行い、普及啓発に務めた。	100%	継続する。
1-2. 町民向け講演会・イベントなどの開催	こころの健康講座	子育て・健康課		12月実施し10人参加。精神科医より長引くコロナ禍の日々「こころの安定を保つために必要なこと」についての講演。	アンケート結果より100%の方が参考になったと答えており、満足度の高い講座が実施できた。	実施	実施を継続
1-2. 町民向け講演会・イベントなどの開催	ふるさとまつり等イベントにおける普及啓発	子育て・健康課 イベント実施関係各課		ふるさとまつり等イベントで、資料の配布等実施。	日曜日開催のイベントで幅広い年齢層の方々に普及啓発が実施できた。	実施	実施を継続
1-3. メディアを活用した啓発活動	広報紙・ホームページを通じた広報活動	地域政策課 子育て・健康課		【地域政策課、子育て・健康課】自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に啓発記事を広報紙へ掲載。 通年での広報紙、ホームページによる相談窓口の周知を実施。	・広報紙面の確保とホームページの活用により、「こころの健康」に関する普及啓発を図ることができた。	実施	事業を継続
1-3 メディアを活用した啓発活動	住民ガイドブックの発行	地域政策課 子育て・健康課		【地域政策課、子育て・健康課】転入者に対し、住民ガイドブック（くらしの便利帳）を配布し、相談窓口等の周知を実施 住民ガイドブック（くらしの便利帳）2023保存版の発行事務	・転入者に対し、他の相談窓口とともに「こころの健康相談」にかかる窓口の周知を図ることができた。	実施	事業を継続
基本施策2 自殺対策を支える人材育成							
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	全職員を対象としたゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		新採用職員及び未受講者を中心にゲートキーパー養成講座を実施した。	職員の受講歴についてリスト作成を行い管理している。未受講者には受講いただくよう周知を行い実施しており、すべての職員に受講してもらうよう工夫している。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	一般住民を対象とするゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		職員向けのゲートキーパー養成講座の際に、一般町民も同時に実施。12名の方が参加。	広く町民に公募を行い募集をし実施した。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	各種団体を対象とするゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		民生委員児童委員を対象に実施する予定であったが、新型コロナウイルスのまん延防止のため中心となった。	地域の困った方に日々対応する、民生委員児童委員を対象に実施した。任期中に1回の実施としている。令和5年度に実施予定とする。	未実施	次年度以降取り組む
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	職員メンタルヘルス研修	総務課		市町村研修センター主催の管理監督職を対象とした「メンタルヘルス」研修が実施され、新たに班長となった職員が参加した。	ストレスに関する知識や管理監督職の役割、セルフケア等など、管理監督職として必要なメンタルヘルスを実践的に学ぶことができた。	100%	新任の管理監督職など、受講が必要な職員へ参加を促す。
2-2. 学校教育の場における人材育成	教職員研修	教育総務課		研修会を実施	いじめ問題を中心に児童生徒指導担当者会等で研修及び情報共有を実施	100%	担当者会を中心に実施
2-2. 学校教育の場における人材育成	生活指導・健全育成	教育総務課		学校教育全般を通して実施	道徳の授業を中心として、学校教育全般を通して、平日頃より児童生徒へ指導。	100%	学校教育全般を通して指導
基本施策3 地域におけるネットワークの強化							
3-1. 地域におけるネットワークの強化	二宮町自殺対策検討会議	全課		全課の課長を対象に1回実施。	町の自殺対策の状況を共有することができた。	実施	実施を継続
3-1. 地域におけるネットワークの強化	いじめ問題対策連絡協議会	教育総務課		年2回実施	いじめ防止基本方針をもとに、現状の確認と対策について情報共有した。	100%	年2回実施予定
3-1. 地域におけるネットワークの強化	地域での見守りネットワークの構築	高齢介護課		見守りの普及啓発、ネットワークの構築をしている。	地域の見守り活動において、二宮町みまもりガイドを作成し見守りに対する意識醸成を図った。	100%	取組を継続
3-1. 地域におけるネットワークの強化	児童虐待防止対策事業	子育て・健康課		代表者会議1回、実務者会議4回、個別ケース検討会議117回	虐待の早期発見・早期対応を目的とした関係機関の虐待に対する温度感が高まっているため、今後も周知図っていく必要がある。	実施	実施を継続
基本施策4 生きることを促進させる要因への支援							
4-1. 居場所づくり活動	地域の通いの場	高齢介護課		279回開催、延べ10,473人参加	新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた開催回数や参加者数が増加した。	80%	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	認知症カフェ（認知症地域支援・ケア向上事業）	高齢介護課		18回開催	3つの会場で実施し、日ごろ介護をしている家族の悩みの共有や、リフレッシュ、情報交換の場となっている。	90%	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	子育てサロン運営事業	子育て・健康課		町内2箇所 利用者数：5,861人 相談件数：1,075件	コロナ禍ではあったが、利用者、相談件数ともにコロナ禍以前に戻りつつある。	実施	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	図書館の利用	生涯学習課		285日／286日	参議院選挙期日前投票及びワクチン接種のため1日臨時休館したが、居場所づくりの提供に繋がった。	99%	年間287日開館予定。
4-1. 居場所づくり活動	にのみや町民大学推進事業	生涯学習課		10講座／11講座	悪天候のため1講座が中止となったが、10講座に延べ378人が参加し、居場所づくりの提供に繋がった。	91%	11講座を実施予定。
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	自殺対策推進事業	子育て・健康課		各関係機関との情報連携を密にし相談体制を構築している。	自殺未遂者・自殺念慮・希死念慮を抱く方に対し、各関係部署や他関係機関と連携し支援を行っている。体制の構築を目指している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	子育て世代包括支援事業	子育て・健康課		子育て世代包括支援センター「にのはぐ」の相談件数全1675件 家庭訪問：542件	母子手帳発行時は全件面接を実施している。、産後も切れ目ない支援を目指している。今後も、相談体勢の充実を図っていきたい。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	介護相談	高齢介護課		事業所訪問なし	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所訪問は中止となったが、介護サービス相談員の定例会・勉強会を行った。	30%	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	民生委員・児童委員による地域における相談・支援	福祉保険課		役員会・定例会を通じて情報の共有や勉強会を開催。その他、社協での心配事相談や地域の活動にて見守り・相談を継続実施している。	令和4年度は民生委員の部会の取り組みの中で、ゲートキーパーに触れる程度であった。次年度以降でゲートキーパーに特化した研修を実施したい。	実施	継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	生活保護相談	福祉保険課		ホームページにて制度説明、及び相談先の周知を実施。町に相談に来られた場合は、平塚保健福祉事務所へつなぐ支援を行った。	対象者の状況に応じて、臨機応変に平塚保健福祉事務所と連携し対応した。	実施	継続

令和4年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和4年度実施状況	令和4年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和5年度以降）の実施計画
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	成年後見制度利用支援事業	福祉保険課 高齢介護課		【福祉保険課】令和3年度1件。令和4年度は実績なし。引き続き、相談等支援につぎ対応。 【高齢介護課】1件の申し立て申請を行った。	【福祉保険課】相談支援事業所やケース対応を通じて、制度の説明や資料の提供等を行った。その他、民生委員児童委員に対して、成年後見制度の制度説明を行い周知した。 【高齢介護課】判断能力が低下した高齢者に必要な町長申立てを行うことができた。また、家族等からの相談に対して制度の案内を行った。	実施 （福祉保険課） 100% （高齢介護課）	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	障害者生活支援事業	福祉保険課		相談支援体制強化のため、3障害を対象に地域の社会福祉法人に相談支援の委託を実施。	複合的な相談が増え、相談がより複雑化してきている。引き続き相談支援事業所とともに関係機関との連携を強化し対応していきたい。	実施	継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	障害者虐待の対応	福祉保険課		随時相談窓口及び受理体制の確保を実施。 令和4年度は1件受理。虐待認定まで至らず。	相談受理や対応につき、丁寧な対応が必要。 受理者側の支援力向上のため、研修等に参加していきたい。	実施	継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	消費生活対策事業	地域政策課		・高齢者を対象とした消費生活出前講座の実施：2回/年2回 ・中学3年生を対象にした消費者被害未然防止講座の実施：0回/年2回※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止 ・平塚市消費生活センターにおける広域相談窓口の設置	・関連リーフレットやチラシの配架、講座参加者へは啓発物品等を配布し、意識啓発を図った。 ・早期に相談窓口へつながるように平塚市消費生活センターの周知徹底に努めた。	一部実施	事業を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	無料法律相談	地域政策課		認定司法書士による無料法律相談会開催：12回/年12回	・法律面からの助言や対応の方向性を示すことで、町民が抱える悩み不安、問題解決への一助となった。	実施	事業を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	納税相談	戸籍税務課 福祉保険課		納税相談者の状況に応じて、様々な支援制度や担当機関を案内。	ヒアリングや書類調査により、納税相談者の状況把握に努めており、生活再建に向けた各種制度の案内を随時実施できている。	100%	実施を継続（戸籍税務課にて回答）
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	心配ごと相談	福祉保険課		町の広報・ホームページにて周知。二宮町社会福祉協議会でもホームページにて周知。令和4年度は毎月実施。	その場で解決できる案件は少ないため、必要な関係機関へつないでいただくよう、民生委員等に案内している。	実施	継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	生活困窮者への支援	福祉保険課		窓口にはパンフレットを配架。また、生活困窮者自立支援制度につなげるケースは県社協とともに連携し支援している。	困難性が高い相談が多い。その為、県社協等との連携を強化していきたい。（現在、定期的な連携会議あり）	継続	実施
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	消防との連携	消防署 子育て・健康課		【消防署、子育て・健康課】関係救急事案を随時情報共有している。	救急現場の状況や対応について情報共有を実施。担当部署と連携を図り自殺対策を講じたことにより目標達成。	100%	継続して、更なる推進を図る。
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	健康づくりステーション（未病センターにのみや）	子育て・健康課		開設日196日、利用者延べ730人。	心身の健康づくりについて助言を実施している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	商工相談	産業振興課		二宮町商工会での中小企業診断士による相談窓口の設置や経営指導員による相談	新型コロナウイルス感染症の影響による売上げ減少等の相談が二宮町商工会に多数あり、随時、事業者の要望に沿った融資や各種補助金の案内を行うことができた。	実施	実施を継続
4-3. 妊娠婦・子育てをしている保護者への支援の充実	児童虐待防止対策事業	子育て・健康課	再掲	民生委員への研修会2回	関係機関からの児童虐待に関する研修要望があり、虐待の早期発見、予防につながる機会を作れた。	実施	実施を継続
4-3. 妊娠婦・子育てをしている保護者への支援の充実	子育て世代包括支援事業	子育て・健康課	再掲	はぐくみ相談：12回 赤ちゃん体操：12回 実35組 延93組 離乳食教室：12回 延64組	乳幼児期ほど参加率が高く、リピート率も高いことから、乳幼児期の育児不安が高いことが伺える。相談内容は日常的事が多く、妊娠期や出産直後からの関係性からも当課を相談窓口として認識されているものだと感じる。また、復職される保護者が増加していることより、乳幼児期に寄り添い、支援を行うことの重要性を感じる。	実施	実施を継続
4-3. 妊娠婦・子育てをしている保護者への支援の充実	こんにちは赤ちゃん事業	子育て・健康課		赤ちゃん訪問111件、うち、EPDSを取った産婦111件	産院や当課赤ちゃん訪問でのEPDSが高い産婦に対しては電話や家庭訪問を継続している。今後もきめ細やかな対応を行っていきたい。	実施	実施を継続
4-3. 妊娠婦・子育てをしている保護者への支援の充実	育児・発達支援事業	子育て・健康課		親子教室（全18回）：実21組 延99組 親子教室分室（全18回）：実14組、延80組 発達支援教室（全58回）：実31名、延360名 親子相談：実88件 延94件 巡回相談：10園 37回 延151件 発達支援連絡会：1回 27名	発達や親子関係に不安を抱える親子は増加傾向にある。発達支援連絡会では昨今の乳幼児の事故をテーマに研修会を開催した。こどもたちを支える職員に現場でできる対応方法などを伝え、身近の相談者として捉えて頂く機会となった。教室や相談体制の充実を図り、今後も様々な角度から発達支援を行っていきたい。	実施	実施を継続
4-3. 妊娠婦・子育てをしている保護者への支援の充実	ファミリー・サポート・センター	子育て・健康課		まかせて会員：83人 おねがい会員：165人 両方会員：11人 援助活動件数：719件	まかせて会員の登録者が増加傾向にある。	実施	実施を継続
4-3. 妊娠婦・子育てをしている保護者への支援の充実	ひとり親家庭の支援	子育て・健康課		児童扶養手当：111世帯 ひとり親医療：166世帯	新型コロナウイルスにより「低所得の子育て世帯生活支援特別給付金」を支給した。	実施	実施を継続
4-4. 自殺未遂者への支援	自殺未遂者支援研修の実施	子育て・健康課		町主催の研修会を実施していないが、積極的に研修へ参加している。	研修会の実施はできていないが、実施に向けて知識を増やしている。	実施	実施を継続
4-4. 自殺未遂者への支援	精神保健福祉普及相談事業	子育て・健康課		本人の同意が得られた場合、町保健師の介入を行っている。支援方法については、各関係機関に相談しながら対応している。 令和4年度から継続ケースを含め10人把握し、9人支援としてかわった。他希死念慮を抱くケース2人の相談を行った。	町内連携や各関係機関より把握した自殺未遂者および自殺念慮・希死念慮を抱く方に対し免田や電話相談を行っている。	実施	実施を継続
4-5. 遺された人への支援	自死遺族相談	子育て・健康課		県精神保健福祉センターを中心に、電話相談や、自死遺族の集いの場が設けられている。また、町でも相談を行っていることを、周知している。 町主管課における、自死遺族支援者は0人である。	窓口の周知をおこなうことで、自死遺族に関する支援を行っている。	実施	実施を継続

令和4年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

重点施策1 若者対策							
1-1. SOSの出し方に関する教育の実施	子どもの人権に関する教育	教育総務課		道徳や学校教育全般を通しての推進 人権に関する職員研修を各校で実施	教科化された道徳を中心として、学校の教育活動全体を通じて子どもの人権意識の高揚を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	学校との連携	教育総務課		ケース会議の実施	不登校や支援の必要な児童生徒などの情報共有を密に行い、連携の強化を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	専門職や関係機関との連携	教育総務課		支援スタッフによる定期的な打合せ	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心理教育相談員、教育支援室専任教諭との連携の強化を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	いじめ問題対策連絡協議会	教育総務課		いじめ問題対策連絡協議会	いじめ防止基本方針をもとに、現状の確認と対策について情報共有を行った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	幼保小連携	教育総務課		幼稚園・保育園・小学校研修会、幼稚園・保育園・小学校連携推進委員会	幼稚園・保育園・小学校の連携を強化し、学校生活の円滑なスタートを図った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	就学に関する事務	教育総務課		就学相談	特別に支援を要する児童生徒に対して、きめ細やかな相談を実施。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	教育相談（いじめを含む）	教育総務課		心理教育相談員による個別相談	保護者からの、教育上の悩みなどに丁寧に対応した。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用	教育総務課		ケース会議、個別の事案への助言	社会福祉の専門的な知識を生かし、多様な支援方法を助言するなどして、課題解決を図った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	不登校児童生徒への支援	教育総務課		教育支援室	不登校児童生徒を対象に、教育支援室でそれぞれの個性、課題に応じた対応を行った。	100%	継続して実施
1-4. 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実	就学援助と特別支援学級就学奨励補助に関する事務	教育総務課		経済的に就学困難な家庭に、義務教育に係る経費の一部を補助（学用品、校外活動費、給食費等）	制度に基づき適正に実施をした。	100%	継続して実施
1-4. 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実	奨学金に関する事務	教育総務課		二宮町育英会の自主運営により、高等学校生徒に学資を支給	制度に基づき適正に実施をした。	100%	継続して実施
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	命の授業	子育て・健康課		町内にある小学校3校（全3校）対象に実施。二宮小学校・山西小学校は6年生を対象とした。一色小学校は令和4年度は4・5・6年生を対象にした。児童257人、保護者18人参加。	年度当初の計画通り、町内にある全ての小学校に対し実施ができた。	実施	実施を継続
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	青少年育成地域活動	生涯学習課		万全なコロナ対策のうえVamos Liveを開催した。青少年指導員向けの研修会を計画したが、新型コロナウイルスのため中止となった。	ダンスパフォーマンスの部11組、バンド演奏の部2組の参加があり、青少年の日ごろの成果の発表の場を提供することができた。	50%	青少年のための研修及びVamos liveを実施する。
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	青少年社会環境浄化活動	生涯学習課		環境浄化推進員と連携し年10回予定の環境浄化パトロール等を9回開催した。 青少年指導員と連携した愛のパトロール等を2回実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響も残っているが、活動も再開しており、パトロールを実施できた。	55%	環境浄化推進員が活動を休止することとなったため、R5以降は環境浄化パトロールは実施しない。愛のパトロールは引き続き実施する。
重点施策2 生活困窮対策							
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活保護に関する相談	福祉保険課		ホームページにて制度説明、及び相談先の周知を実施。町に相談に来られた場合は、平塚保健福祉事務所へつなく支援を行った。その他、民生委員児童委員定例会において平塚保健福祉事務所の担当者等の紹介を行い連携を図った。	対象者の状況に応じて、臨機応変に平塚保健福祉事務所と連携し対応した。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	緊急援護資金貸付事業	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活福祉資金貸付事業	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイリスク者に対する個別支援	生活困窮者への支援	福祉保険課		随時相談対応	窓口パンフレットを配架。その他、随時相談に応じ、貸付制度や生活困窮者自立支援制度の説明を行った。	実施	実施を継続
重点施策3 高齢者対策							
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	地域ケア会議	高齢介護課		12回開催	個別事例の検討や高齢者虐待防止、認知症高齢者に関する地域課題について意見交換を行った。	90%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	認知症総合支援事業（普及啓発）	高齢介護課		認知症相談97件。認知症サポーター養成講座を15回実施し327名が受講した。	町職員、中学校生徒の他各種団体でボランティア活動をされている方や地域の方に対し養成講座を実施した。	100%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	生活支援サービスの体制整備	高齢介護課		第1層協議体を4回開催し、第二層協議体については、各小学校区において実施した。	二宮町みまもりガイドの作成、地域の担い手についての情報交換、検討等を行った。	80%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	総合相談事業（地域包括支援センター運営事業）	高齢介護課		総合相談件数969件	平日の窓口や電話対応以外にも、メール等を利用し遠方に住む高齢者家族等からの相談をしやすい体制を設けている。緊急時には夜間休日の対応も行った。	100%	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	後期高齢者健康診査	子育て・健康課		6月～10月実施。5,467人に個別通知し、2,190人受診。	受診率向上に努めていく。	実施	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	健康相談	子育て・健康課		65歳以上の健康相談(所内)は18件で、この他未病センター利用者やイベントで健康相談を行った。	所内や所外において健康相談を実施している。	実施	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	集団健康教育	子育て・健康課		地域の通いの場等にて8回延べ167人に実施。	健康づくりについての情報提供・実践の場になっている。	実施	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	地域の通いの場	高齢介護課		279回開催、延べ10,473人参加	新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた開催回数や参加者数が増加した。	80%	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	認知症総合支援事業（認知症カフェ）	高齢介護課		18回開催	3つの会場で実施し、日ごろ介護をしている家族の悩みの共有や、リフレッシュ、情報交換の場となっている。	90%	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	地域における見守り活動の推進	福祉保険課 高齢介護課 防災安全課		【福祉保険課】民生委員児童委員が地域で声かけ・見守り活動を実施 【高齢介護課】医療情報シート登録者一覧を民生委員及び地区自主防災会情報提供を行った。二宮町みまもりガイドを作成し見守りに対する意識醸成を図った。 【防災安全課】6月の地区長連絡協議会で要支援者名簿を配布	【福祉保険課】医療情報シートに登録をされている方を中心に、民生委員児童委員による見守り活動を継続した。 【高齢介護課】一覧表の情報提供及び、登録した高齢者に対し医療情報シートを配布を行い、緊急時に親族や医療機関と連携を図ることができるようにしている。 【防災安全課】地域における災害弱者への理解と見守り意識を醸成するため、当該年度においても避難行動要支援者名簿を地区長へ配布した。	実施 (福祉保険課) 100% (高齢介護課) 100% (防災安全課)	実施を継続（福祉保険課・高齢介護課） 引き続き実施
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	ほっと安心ヘルパー派遣	高齢介護課		シルバー人材センターへ委託し、家事支援を行った。	早朝のごみ出し等や除草等、高齢者のみで行うことが困難な家事サービスを継続して提供した。	100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	緊急通報システム	高齢介護課		204名の登録者に対し緊急対応等必要な支援を行った。	固定電話が無くても利用可能になり、温湿度センサーによる熱中症見守りや、災害時にはエリアメールを受信し音声案内する等、機能向上を図った。	100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	日常生活自立支援事業（あんしんセンター）	福祉保険課		民生委員児童委員が地域で声かけ・見守り活動を実施	医療情報シートに登録をされている方を中心に、民生委員児童委員による見守り活動を継続した。	実施	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	にのみや社協たすけあいネットワーク	福祉保険課		社会福祉協議会のホームページでの周知に加え、相談業務の中で随時紹介等支援を実施	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
重点施策4 働き盛り世代対策							
4-1. 働き盛り世代対策	地域産業の育成・発展	産業振興課		二宮町商工会での専門家派遣によるセミナーの実施。年間93人の集団指導を行った。	電子インボイス対応やBCP対策など、事業継続力に関するセミナーを開催し、時代の変化に対応するための力を事業所に指導することができていた。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	商工相談	産業振興課		二宮町商工会でのエキスパート派遣事業(1)、コーディネーター派遣事業(2)の実施。 (1)年間3回実施 (2)年間4回実施	各派遣事業では、販路開拓や事業計画・集客計画の策定などを目的に専門家を派遣し、コロナ禍での売上減少や事業存続に関する課題解決の力となることができていた。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	職員ストレスチェック	総務課		職員健康診断と併せて、職員ストレスチェックを実施した。	高ストレスに該当した職員に対し、医師との面談を促すとともに、メンタル不調にある職員の把握を行うことができた。	100%	継続して実施していく。
4-1. 働き盛り世代対策	学校職員ストレスチェック	教育総務課		健康診断と併せてストレスチェックを実施	労働安全衛生法に基づき、学校職員等のストレスチェックを実施し、メンタル不調の未然防止を図った。	100%	継続して実施
4-1. 働き盛り世代対策	特定健康診査	子育て・健康課		6月～10月実施。5,003人に個別通知し、1,702人受診（人間ドック受診者含む）。	受診率向上に努めていく必要がある。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	特定健康診査の保健指導	子育て・健康課		特定保健指導対象者は133人であった。	保健指導の利用率向上に努めていく必要がある。	実施	実施を継続

令和5年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和5年度実施状況	令和5年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和6年度以降）の実施計画
基本施策1 住民への普及啓発							
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	チラシによる相談窓口の周知	子育て・健康課		庁内窓口等にチラシを配架し、相談窓口の周知を図った。	悩んでいる周囲の方に相談窓口が届くように、相談窓口の周知を図ることができた。	実施	実施を継続
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	リーフレットによる心の健康づくりに関する周知	子育て・健康課		庁内窓口、保健センター等で心の健康に関するリーフレットの配布を実施。	心の健康を保つことは重要であり、町内窓口や未病センター等で普及啓発を行うことができた。	実施	実施を継続
1-1. 心の健康づくり・生きる支援についての知識の普及・啓発	図書館の管理	生涯学習課		4回	自殺対策強化月間（3月）を含め、心身の健康に関する資料展示を4回行い、普及啓発に務めた。	100%	継続する。
1-2. 町民向け講演会・イベントなどの開催	こころの健康講座	子育て・健康課		12月実施し9人参加。精神科医より「女性のからだに起こりやすいこころの病気」についての講演。	アンケート結果より100%の方が参考になったと答えており、満足度の高い講座が実施できた。	実施	実施を継続
1-2. 町民向け講演会・イベントなどの開催	ふるさとまつり等イベントにおける普及啓発	子育て・健康課 イベント実施関係各課		ふるさとまつり等イベントで、資料の配布等実施。	日曜日開催のイベントで幅広い年齢層の方々に普及啓発が実施できた。	実施	実施を継続
1-3. メディアを活用した啓発活動	広報紙・ホームページを通じた広報活動	地域政策課 子育て・健康課		【地域政策課、子育て・健康課】 自殺予防週間（9月）、自殺対策強化月間（3月）に啓発記事を広報紙へ掲載 通年での広報紙、ホームページによる相談窓口の周知を実施	・広報9月号の自殺予防週間のほか、広報3月号では自殺対策強化週間を見開きで掲載し、重点的に普及啓発を図った。	実施	事業を継続
1-3 メディアを活用した啓発活動	住民ガイドブックの発行	地域政策課 子育て・健康課		【地域政策課、子育て・健康課】 転入者に対し、住民ガイドブック（くらしの便利帳）を配布し、相談窓口等の周知を実施	・転入者に対し、「こころの健康相談」にかかる窓口の周知を図った。	実施	事業を継続
基本施策2 自殺対策を支える人材育成							
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	全職員を対象としたゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		新採用職員及び未受講者を中心にゲートキーパー養成講座を実施した。	職員の受講歴についてリスト作成を行い管理している。未受講者には受講いただくよう周知を行い実施しており、すべての職員に受講してもらうよう工夫している。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	一般住民を対象とするゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		職員向けのゲートキーパー養成講座の際に、一般町民も同時に実施。8名の方が参加。	広く町民に公募を行い募集をし実施した。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	各種団体を対象とするゲートキーパー養成講座	子育て・健康課		令和5年度は、令和4年度に中止となった民生委員児童委員に対し実施し47名が参加した。	地域の困った方に日々対応する、民生委員児童委員を対象に実施した。任期中に1回の実施としている。	実施	実施を継続
2-1. さまざまな職種を対象とする研修の実施	職員メンタルヘルス研修	総務課		職員健康診断と併せて、職員ストレスチェックを実施した。	高ストレスに該当した職員に対し、医師との面談を促すとともに、メンタル不調にある職員の把握を行うことができた。	100%	継続して実施していく。
2-2. 学校教育の場における人材育成	教職員研修	教育指導課		研修会を実施	いじめ問題を中心に児童生徒指導担当者等で研修及び情報共有を実施	100%	担当者会を中心に実施
2-2. 学校教育の場における人材育成	生活指導・健全育成	教育指導課		学校教育全般を通して実施	道徳の授業を中心として、学校教育全般を通して、平日頃より児童生徒へ指導。	100%	学校教育全般を通して指導
基本施策3 地域におけるネットワークの強化							
3-1. 地域におけるネットワークの強化	二宮町自殺対策検討会議	全課		令和5年度未実施。	令和5年度は計画策定のためにアンケートを集計しており、集計結果をもとに実施することを目指し、令和6年度の実施することとした。	0%	令和6年度にアンケート結果をもとに会議を開催していく。
3-1. 地域におけるネットワークの強化	いじめ問題対策連絡協議会	教育指導課		年2回実施	いじめ防止基本方針をもとに、現状の確認と対策について情報共有した。	100%	年2回実施予定
3-1. 地域におけるネットワークの強化	地域での見守りネットワークの構築	高齢介護課		見守りの普及啓発、ネットワークの構築をしている	地域の見守り活動において、二宮町みまもりガイドを活用して見守りに対する意識醸成を図っている。	100%	取組を継続
3-1. 地域におけるネットワークの強化	児童虐待防止対策事業	子育て・健康課		代表者会議1回、実務者会議4回、 個別ケース検討会議92回 1 個	虐待の早期発見・早期対応を目的とした関係機関の虐待に対する温度感が高まっているため、今後も周知図っていく必要がある。	実施	実施を継続
基本施策4 生きることを促進させる要因への支援							
4-1. 居場所づくり活動	地域の通いの場	高齢介護課		553回開催、延べ9,027人参加	新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた開催回数が増加した。	85%	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	認知症カフェ（認知症地域支援・ケア向上事業）	高齢介護課		25回開催	3つの会場で実施し、日ごろ介護をしている家族の悩みの共有や、リフレッシュ、情報交換の場となっている。	100%	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	子育てサロン運営事業	子育て・健康課		町内2箇所 利用者数：7,499人 相談件数：1,212件	コロナも落ち着き、利用者、相談件数ともに前年度と比較し、大幅に増加した。	実施	実施を継続
4-1. 居場所づくり活動	図書館の利用	生涯学習課		287日	適切な管理運営を行い、居場所づくりの提供に繋がった。	100%	継続する。
4-1. 居場所づくり活動	にのみや町民大学推進事業	生涯学習課		町民大学講座 11講座 参加者延453名	町民への様々な学習機会を設けることで、居場所づくりのきっかけ作りを提供することができた。	100%	継続する。
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	自殺対策推進事業	子育て・健康課		各関係機関との情報連携を密にし相談体制を構築している。	自殺未遂者・自殺念慮・希死念慮を抱く方に対し、各関係部署や他関係機関と連携し支援を行っている。体制の構築を目指している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	子育て世代包括支援事業	子育て・健康課		子育て世代包括支援センター「にのはぐ」の相談件数全1675件 家庭訪問：477件	母子手帳発行時は全件面接を実施している。伴走型相談支援を開始したことによる妊娠8か月時面談を全妊婦に実施し、産後も切れ目ない支援を目指している。今後も、相談体勢の充実を図っていきたい。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	介護相談	高齢介護課		介護サービス相談員を8事業所に延べ57回派遣	利用者の声を直接聴き、月1回定例会で報告等行い、介護サービスの質の向上に努めている。	80%	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	民生委員・児童委員による地域における相談・支援	福祉保険課		役員会・定例会を通じて情報の共有や勉強会を開催。その他、社協での心配事相談や地域の活動にて見守り・相談を継続実施している。	地域での見守り活動を継続するほか、ゲートキーパーに特化した研修を実施した。	実施	継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	生活保護相談	福祉保険課		ホームページにて制度説明、及び相談先の周知を実施。町に相談に来られた場合は、平塚保健福祉事務所へつなぐ支援を行った。 その他、民生委員児童委員定例会において平塚保健福祉事務所の担当者等の紹介を行い連携を図った。	対象者の状況に応じて、臨機応変に平塚保健福祉事務所と連携し対応した。	実施	継続

令和5年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和5年度実施状況	令和5年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和6年度以降）の実施計画
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	成年後見制度利用支援事業	福祉保険課 高齢介護課		【福祉保険課】相談支援事業所やケース対応を通じて、制度の説明や資料の提供等を行った。その他、民生委員児童委員に対して、成年後見制度の制度説明を行い周知した。 【高齢介護課】町長申立て0件	【福祉保険課】令和3年度1件。令和4年度は実績なし。 引き続き、相談等支援につき対応。 【高齢介護課】判断能力が低下した高齢者に必要な支援として成年後見制度（町長申立ても含めた）の相談に対して制度の案内等支援を行っている。	実施（福祉保険課） 100%（高齢介護課）	実施を継続（福祉保険課、高齢介護課）
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	障害者生活支援事業	福祉保険課		相談支援体制強化のため、3障害を対象に地域の社会福祉法人に相談支援の委託を実施。	重層的な相談が増え、相談がより複雑化してきている。引き続き相談支援事業所とともに関係機関との連携を強化し対応していきたい。	実施	継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	障害者虐待の対応	福祉保険課		随時相談窓口及び受理体制の確保を実施 令和5年度は受理0件	相談受理や対応につき、丁寧な対応が必要。 受理者側の支援力向上のため、研修等に参加していきたい。	実施	継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	消費生活対策事業	地域政策課		・高齢者を対象とした消費生活出前講座を実施：4回/年4回 ・中学3年生を対象にした消費者未然防止講座の実施：2回/年2回 ・平塚市消費生活センターにおける広域相談窓口の設置	・関連リーフレットやチラシの配架、講座参加者へは啓発物品を配布し、意識啓発を図った。 ・早期に相談窓口へ繋がる様に平塚市消費生活センターの周知徹底に努めた。	実施	事業を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	無料法律相談	地域政策課		認定司法書士による無料法律相談：12回/年12回	法律面からの助言や対応の方向性を示すことで、町民が抱える悩み不安、問題解決の一助となった。	実施	事業を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	納税相談	戸籍税務課 福祉保険課		納税相談者の状況に応じて、様々な支援制度や担当機関を案内。	ヒアリングや書類調査により、納税相談者の状況把握に努めており、生活再建に向けた各種制度の案内を随時実施できている。	100%	実施を継続（戸籍税務課で回答）
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	心配ごと相談	福祉保険課		町の広報・ホームページにて周知。二宮町社会福祉協議会でもホームページにて周知 令和5年度は毎月実施	その場で解決できる案件は少ないため、必要な関係機関へつないでいただくよう、民生委員等に案内している。	実施	継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	生活困窮者への支援	福祉保険課		町社協と連携し、当面の食糧の確保としてこども食堂やフードバンクにつないだり、生活困窮者自立支援制度が必要なケースは県社協と連携し、支援している。	困難性が高い相談が多い。その為、県社協等との連携を強化していきたい。（現在、定期的な連携会議あり）	実施	継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	消防との連携	消防署 子育て・健康課		【消防署、子育て・健康課】関係救急事案を随時情報共有している。	救急現場の状況や対応について情報共有を実施。担当部署と連携を図り自殺対策を講じたことにより目標達成。	100%	継続して、更なる推進を図る。
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	健康づくりステーション（未病センターにのみや）	子育て・健康課		開設日193日、利用者延べ1,074人。	心身の健康づくりについて助言を実施している。	実施	実施を継続
4-2. 相談体制の充実・相談窓口	商工相談	産業振興課		二宮町商工会での中小企業診断士による相談窓口の設置や経営指導員による相談	物価高騰や人材不足により影響を受けている事業者に対し各種補助制度や専門家派遣制度などを活用し、寄り添った支援を実施。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	児童虐待防止対策事業	子育て・健康課		小学校新任教員への研修会1回 県立高校での研修1回 関係機関への児童虐待予防研修1回	関係機関からの児童虐待に関する研修要望があり、虐待の早期発見、予防につながる機会を作れた。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	子育て世代包括支援事業	子育て・健康課		はぐくみ相談：12回 でんでんむし【教室開催分】：6回、延86組 赤ちゃん体操：12回 実49組 延109組 離乳食教室：12回 延61組	乳幼児期ほど参加率が高く、リピート率も高いことから、乳幼児期の育児不安が高いことが伺える。相談内容は日常的なことが多く、妊娠期や出産直後からの関係性からも当課を相談窓口として認識されているものだと感じる。また、復職される保護者が増加していることより、乳幼児期に寄り添い、支援を行うことの重要性を感じる。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	こんにちは赤ちゃん事業	子育て・健康課		赤ちゃん訪問103件、 うち、EPDSを取った産婦99件	産後の心身の不調に対応するため、産婦健診を開始した。産院や当課赤ちゃん訪問でのEPDSが高い産婦に対しては電話や家庭訪問を継続している。産後ケアも開始し、母子のケアを実施している。今後もきめ細やかな対応を行っていきたい。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	育児・発達支援事業	子育て・健康課		親子教室（全18回）：実18組 延76組 親子教室分室（全18回）：実11組、延57組 発達支援教室（全58回）：実29名、延264名 親子相談：実88件 延94件 巡回相談：10園 37回 延151件 発達支援連絡会：1回 27名	発達や親子関係に不安を抱える親子は増加傾向にある。発達支援連絡会では昨今の乳幼児の事故をテーマに研修会を開催した。こどもたちを支える職員に現場でできる対応方法などを伝え、身近の相談者として捉えて頂く機会となった。教室や相談体制の充実を図り、今後も様々な角度から発達支援を行っていきたい。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	ファミリー・サポート・センター	子育て・健康課		まかせて会員：89人 おねがい会員：176人 両方会員：10人 援助活動件数：711件	まかせて会員の登録者が増加傾向にある。	実施	実施を継続
4-3. 妊産婦・子育てをしている保護者への支援の充実	ひとり親家庭の支援	子育て・健康課		児童扶養手当：109世帯 ひとり親医療：121世帯	新型コロナウイルスにより、前年度に引き続き「低所得の子育て世帯生活支援特別給付金」を支給した。	実施	実施を継続
4-4. 自殺未遂者への支援	自殺未遂者支援研修の実施	子育て・健康課		町主催の研修会は実施していないが、積極的に研修へ参加している。	研修会の実施はできていないが、実施に向けて知識を増やしている。	実施	実施を継続
4-4. 自殺未遂者への支援	精神保健福祉普及相談事業	子育て・健康課		本人の同意が得られた場合や、関係機関からの相談に対し支援。支援方法については、各関係機関に相談しながら対応している。 8名把握し、6名に対し面接や訪問、電話相談を行った。	町内連携や各関係機関より把握した自殺未遂者および自殺念慮・希死念慮を抱く方に対し面談や電話相談を行い支援を行っている。支援方法については、より良い支援をを日々検討しているが、今年度の実施としては、できていると評価する。	実施	実施を継続
4-5. 遺された人への支援	自死遺族相談	子育て・健康課		県精神保健福祉センターを中心に、電話相談や、自死遺族の集いの場が設けられている。また、町でも相談を行っていることを、周知している。 町主管課における、自死遺族支援者は0人である。	窓口の周知をおこなうことで、自死遺族に関する支援を行っている。	実施	実施を継続

令和5年度 二宮町自殺対策計画進捗状況調査

計画における項目	実施内容	担当課	再掲	令和5年度実施状況	令和5年度 実施状況に関する担当課の評価	達成度（％）	今後（令和6年度以降）の実施計画
重点施策1 若者対策							
1-1. SOSの出し方に関する教育の実施	子どもの人権に関する教育	教育指導課		道徳や学校教育全般を通しての推進 人権に関する職員研修を各校で実施	教科化された道徳を中心として、学校の教育活動全体を通じて子どもの人権意識の高揚を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	学校との連携	教育指導課		ケース会議の実施	不登校や支援の必要な児童生徒などの情報共有を密に行い、連携の強化を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	専門職や関係機関との連携	教育指導課		支援スタッフによる定期的な打合せ	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心理教育相談員、教育支援室専任教諭との連携の強化を図った。	100%	継続して実施
1-2. SOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化	いじめ問題対策連絡協議会	教育指導課		いじめ問題対策連絡協議会	いじめ防止基本方針をもとに、現状の確認と対策について情報共有を行った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	幼保小連携	教育指導課		幼稚園・保育園・小学校研修会、幼稚園・保育園・小学校連携推進委員会	幼稚園・保育園・小学校の連携を強化し、学校生活の円滑なスタートを図った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	就学に関する事務	教育指導課		就学相談	特別に支援を要する児童生徒に対して、きめ細やかな相談を実施した。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	教育相談（いじめを含む）	教育指導課		心理教育相談員による個別相談	保護者からの、教育上の悩みなどに丁寧に対応した。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）の活用	教育指導課		ケース会議、個別の事案への助言	社会福祉の専門的な知識を生かし、多様な支援方法を助言するなどして、課題解決を図った。	100%	継続して実施
1-3. 若者の抱えやすい課題に着目した児童・生徒などへの支援の充実	不登校児童生徒への支援	教育指導課		教育支援室	不登校児童生徒を対象に、教育支援室でそれぞれの個性、課題に応じた対応を行った。	100%	継続して実施
1-4. 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実	就学援助と特別支援学級就学奨励補助に関する事務	教育指導課		経済的に就学困難な家庭に、義務教育に係る経費の一部を補助（学用品、校外活動費、給食費等）	制度に基づき適正に実施をした。	100%	継続して実施
1-4. 経済的困難を抱える子どもなどへの支援の充実	奨学金に関する事務	教育指導課		二宮町育英会の自主運営により、高等学校生徒に学費を支給	制度に基づき適正に実施をした。	100%	継続して実施
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	命の授業	子育て・健康課		町内にある小学校3校（全3校）の6年生を対象に実施。190名参加。	年度当初の計画通り、町内にある全ての小学校に対し実施ができた。	実施	実施を継続
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	青少年育成地域活動	生涯学習課		子ども会役員・青少年指導員・スポーツ推進委員合同研修会1回 参加者93名 青少年健全育成に関するイベント（バモスライブ） 1回 参加者669名	青少年の育成に携わる団体間の連携や、技能習得のための研修を実施するとともに、青少年がステージでの発表やイベント運営に関わることによる、体験学習を実施することができた。	100%	実施を継続
1-5. 社会全体で子ども・若者の自殺リスクを減らす取組	青少年社会環境浄化活動	生涯学習課		愛のパトロール等 2回	青少年指導員と連携し、二宮駅周辺や各公園等を中心に、夜遅くまで遊んでいる児童がいないかパトロールに取り組めた。	100%	実施を継続
重点施策2 生活困窮対策							
2-1. 生活困窮を抱えたハイレスク者に対する個別支援	生活保護に関する相談	福祉保険課		ホームページにて制度説明、及び相談先の周知を実施。町に相談に来られた場合は、平塚保健福祉事務所へつなぐ支援を行った。その他、民生委員児童委員定例会において平塚保健福祉事務所の担当者等の紹介を行い連携を図った。	対象者の状況に応じて、臨機応変に平塚保健福祉事務所と連携し対応した。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイレスク者に対する個別支援	緊急援護資金貸付事業	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイレスク者に対する個別支援	生活福祉資金貸付事業	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
2-1. 生活困窮を抱えたハイレスク者に対する個別支援	生活困窮者への支援	福祉保険課		随時相談対応	窓口パンフレットを配架。その他、随時相談に応じ、貸付制度や生活困窮者自立支援制度の説明を行った。	実施	実施を継続
重点施策3 高齢者対策							
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	地域ケア会議	高齢介護課		12回開催	個別事例の検討や高齢者虐待防止、認知症高齢者に関する地域課題について意見交換を行った。	90%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	認知症総合支援事業（普及啓発）	高齢介護課		認知症相談101件。認知症サポーター養成講座を17回実施し414名が受講した。	町職員、中学校生徒の他各種団体でボランティア活動をされている方や地域の方に対し養成講座を実施した。	100%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	生活支援サービスの体制整備	高齢介護課		第1層協議体を4回開催し、第二層協議体については、各小学校区において実施した。	ごみ出しや移動についての情報交換、検討等を行った。	90%	実施を継続
3-1. 包括的な支援のための連携の推進	総合相談事業（地域包括支援センター運営事業）	高齢介護課		総合相談件数1, 054件	平日の窓口や電話対応以外にも、メール等を利用し遠方に住む高齢者家族等からの相談をしやすい体制を設けている。緊急時には夜間休日の対応も行った。	100%	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	後期高齢者健康診査	子育て・健康課		6月～10月実施。5, 700人に個別通知し、2, 190人受診。	受診率向上に努めていく。	実施	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	健康相談	子育て・健康課		65歳以上の健康相談(所内)は28件で、この他未病センター利用者やイベントで健康相談を行った。	所内や所外において健康相談を実施している。	実施	実施を継続
3-2. 高齢者の健康不安に対する支援	集団健康教育	子育て・健康課		地域の通いの場等にて9回延べ161人に実施。	健康づくりについての情報提供・実践の場になっている。	実施	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	地域の通いの場	高齢介護課		553回開催、延べ9, 027人参加	新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた開催回数が増加した。	85%	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	認知症総合支援事業（認知症カフェ）	高齢介護課		25回開催	3つの会場で実施し、日ごろ介護をしている家族の悩みの共有や、リフレッシュ、情報交換の場となっている。	100%	実施を継続
3-3. 社会参加の強化と孤独・孤立の予防	地域における見守り活動の推進	福祉保険課 高齢介護課 防災安全課		【福祉保険課】民生委員児童委員が地域で声かけ・見守り活動を実施。 【高齢介護課】医療情報シート登録者一覧を民生委員及び地区自主防災会情報提供を行った。二宮町まもりガイドを活用し見守りに対する意識醸成を図った。 【防災安全課】規模を拡大して実施。	【福祉保険課】医療情報シートに登録をされている方を中心に、民生委員児童委員による見守り活動を継続した。 【高齢介護課】一覧表の情報提供及び、登録した高齢者に対し医療情報シートを配布を行い、緊急時に親族や医療機関と連携を図ることができるようにしている。 【防災安全課】地域における災害弱者への理解と見守り意識を醸成するため、当該年度においても避難行動要支援者名簿を地区長へ配布した。 また、難病患者や土砂災害特別警戒区域にお住いの高齢者等を対象に個別避難計画の策定を進めた。	実施（福祉保険課） 実施（高齢介護） 実施（防災安全課）	実施を継続（福祉保険課、高齢介護課、棒材安全課）
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	ほっと安心ヘルパー派遣	高齢介護課		シルバー人材センターへ委託し、家事支援を行った。	早朝のごみ出し等や除草等、高齢者のみで行うことが困難な家事サービスを継続して提供した。	100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	緊急通報システム	高齢介護課		264名の登録者に対し緊急対応等必要な支援を行った。	固定電話が無くてでも利用可能になり、温湿度センサーによる熱中症見守りや、災害時にはエリアメールを受信し音声案内する等、機能向上を図った。	100%	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	日常生活自立支援事業（あんしんセンター）	福祉保険課		町・社会福祉協議会のホームページにて周知	ホームページでの周知に加え、必要な相談者には制度の案内を行った。	実施	実施を継続
3-4. 生活不安を抱える高齢者に対する生活支援	にのみや社協たすけあいネットワーク	福祉保険課		登録ボランティアの減少により、新規での受付を中止した。	現におたすけネットに登録している方へのサービスのみ実施した。	縮小	登録ボランティアの減少は避けられないので、事業規模を縮小し、今後は廃止を見据えた見直しを行う。
重点施策4 働き盛り世代対策							
4-1. 働き盛り世代対策	地域産業の育成・発展	産業振興課		二宮町商工会での専門家派遣によるセミナーの実施。 年間124人の集団指導を行った。	BCP対策や事業計画の策定など、事業継続力に関するセミナーを開催し、時代の変化に対応するための力を事業所に指導することができていた。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	商工相談	産業振興課		二宮町商工会でのエキスパート派遣事業(1)、コディネーター派遣事業(2)の実施。 (1)年間6回実施 (2)年間5回実施	各派遣事業では、販路開拓やIT活用支援などを目的に専門家を派遣。物価高騰、人材不足などに起因する売上減少や事業存続に関する課題を解決する力となることができていた。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	職員ストレスチェック	総務課		職員健康診断と併せて、職員ストレスチェックを実施した。	高ストレスに該当した職員に対し、医師との面談を促すとともに、メンタル不調にある職員の把握を行うことができた。	100%	継続して実施していく。
4-1. 働き盛り世代対策	学校職員ストレスチェック	教育総務課		健康診断と併せてストレスチェックを実施	労働安全衛生法に基づき、学校職員等のストレスチェックを実施し、メンタル不調の未然防止を図った。	100%	継続して実施
4-1. 働き盛り世代対策	特定健康診査	子育て・健康課		6月～10月実施。4, 652人に個別通知し、1, 547人受診（人間ドック受診者含む）。	受診率向上に努めていく必要がある。	実施	実施を継続
4-1. 働き盛り世代対策	特定健康診査の保健指導	子育て・健康課		特定保健指導対象者は102人であった。	保健指導の利用率向上に努めていく必要がある。	実施	実施を継続